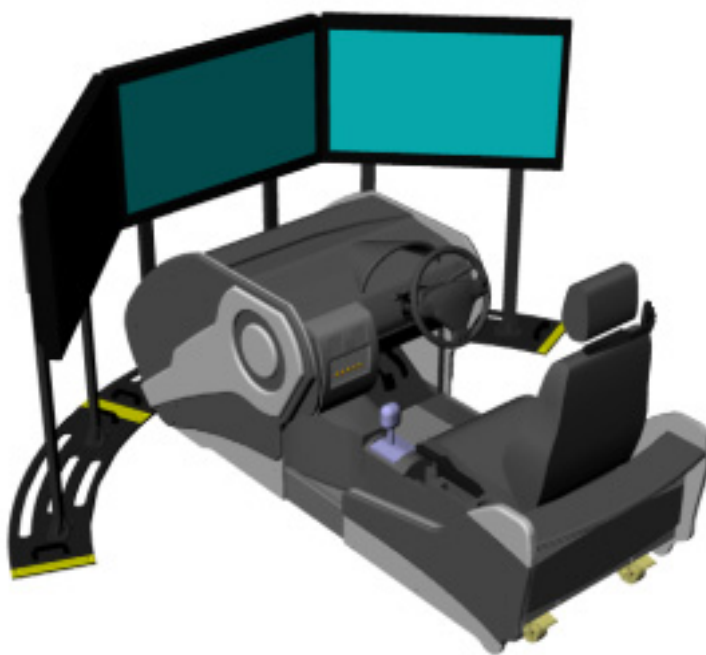


UC-win/Road ドライブシミュレータ(3ch対応版)

＜PR-R-3-AW-AT-100＞

ユーザーズマニュアル



株式会社フォーラムエイト

ドライブシミュレータ マニュアル

FORUM 8

for Ver1.04.00

2010.3 現在

目次

はじめに	1
1. 取り扱い上の注意	2
2. 部品構成及び名称	4
2-1. 本体	4
2-2. モニター	6
2-3. ケーブル類	7
2-3-1. 本体	7
2-3-2. モニター	8
2-4. 音量/振動のボリュームを調整する	8
3. 本機の組立	10
4. コンピュータに接続する	14
4-1. モニタケーブルの接続	14
4-2. 映像出力の設定	14
4-3. その他のケーブルの接続	15
5. UC-win/Road のセットアップ	16
5-1. 製品版のインストール	16
5-2. ドライブシミュレータのドライバの手動インストール	28
5-3. UC-win/Road のカスタマイズ版への更新	33
6. 映像出力の設定	34
7. 音量/振動のボリュームを調整する	35
8. UC-win/Road の起動と実行	36
8-1. プログラムの起動	36
8-2. ドライブシミュレータの初期設定	36
8-3. データの読み込み	38
8-4. 複数画面の表示	39
8-5. 全画面表示の切替え	41
8-6. シナリオモードの実行(カスタマイズ版のみ対応)	41
8-7. ルート飛行	43
9. トラブルシューティング	44
Q1. プログラム起動時にエラーメッセージが表示される	44
Q2. 突然運転ができなくなった(ハンドルあるいはペダルが反応しない)	45
Q3. ハンドルの初期化メッセージが表示されない	47

Q4. デバイス、プラグインが正常に認識されていても起動時、初期化が失敗する	49
10. ハードウェア仕様	50
11. 本体寸法及び図面	1
12. ドライブシミュレータ回路構造図	0

はじめに

本書に記載されたお取り扱い方法は、2010年3月現在までの3チャンネルドライブシミュレータ(モデル名:PR-R-3-AW-AT-100)のみを対象としております。それ以前または以降のバージョン、および別モデルに関するお取り扱い方法は含まれませんので予めご了承ください。また、本書の内容、仕様は将来予告なしに変更する場合がございますので予めご了承ください。

1. 取り扱い上の注意

ドライブシミュレータ(以下、本機)をお使いになる前に、本節を必ずお読みになり、内容をよく理解した上で本製品をお使いください。尚、本節の内容には弊社製品を組み込んだシステム全般に関する注意事項も記載されています。

強制事項

- ◇ 本機とパソコン(以下、PC)を接続する際には、必ずPCメーカーおよび周辺機器メーカーが指示する警告や注意事項に従ってください。
- ◇ 本機の接続は、電源を抜いた状態で行ってください。

本機をお使いのPCに接続する際には、本機の電源をOFFにし、コンセントから電源ケーブルを抜いた状態で行うようにしてください。PCに電源が供給可能な状態で接続作業を行いますと、感電する恐れがあります。
- ◇ 本機の取付前に、必ずPC内のデータのバックアップをお取りください。

バックアップを作成しなかった場合、本機の誤った使用、故障などによりPC内のデータが消失、破損した場合であっても弊社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ◇ 本機のスピーカ使用時に異常音など発生した場合、直ちに使用をお止めください。

スピーカの音量が異常に大きかったり、動作不良により異常な音が再生される場合、直ちにスピーカの電源をOFFにし、使用をお止めください。耳に障害を引き起こす原因となります。
- ◇ 本機を廃棄する際には、地方自治体の条例等に従って正しく廃棄処理を行ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

禁止事項

- ◇ 本機の分解、改造を行わないでください。

火災、感電および故障の原因となります。
- ◇ 本機を以下のような場所に設置しないでください。

火災、故障、けがなどの悪影響を及ぼす恐れがあります。

火気の周辺、または熱気のこもる場所
→過熱による故障、変形の原因となります。

直射日光が当たる場所
→過熱による故障、変形の原因となります。

強い磁界、静電気が発生する場所
→故障、感電の原因となります。

埃の多い場所
→故障、感電の原因となります。

振動が発生する場所

→破損、故障、またはけがの原因となります。

平らでない場所

→転倒による破損、故障、またはけがの原因となります。

漏電、漏水の危険のある場所

→故障、感電の原因となります。

◇ 本機の内部に液体類を入れないでください。

液体類が本機の内部に入ってしまった場合には、直ちにPCおよび本機の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けた場合、ショートによる火災、故障、感電の原因となります。

◇ アプリケーションソフトの動作中に本機やPCの電源スイッチをOFFにしたり、電源プラグを抜かないでください。

PC内のデータを消失、破損する恐れがあります。

◇ 本機を定格以上の電源で使用しないでください。

火災、故障、破損の原因となります。海外など高電圧の環境(220V以上)で使用する場合は必ず変圧器を使用してください。また、変圧器での接続などは、その地域で定められた方法に従って行うようにしてください。

◇ 本機内部に異物を入れないでください。

破損、故障および感電の原因となります。

◇ 本機の稼働中に、内部に手を触れないでください。

感電する恐れがあります。

◇ 本機、およびPCの電源プラグを束ねた状態で使用しないでください。

ケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災、故障の原因となります。

◇ 本機の部品に強い圧力を加えないでください。

ステアリングやペダル類に無理な力が加わりますと、変形、破損の原因となります。

◇ 本機の液晶パネルに強い圧力を加えないでください。

故障、液晶面の破損の原因となります。

◇ 本機のスピーカに耳を近づけないでください。

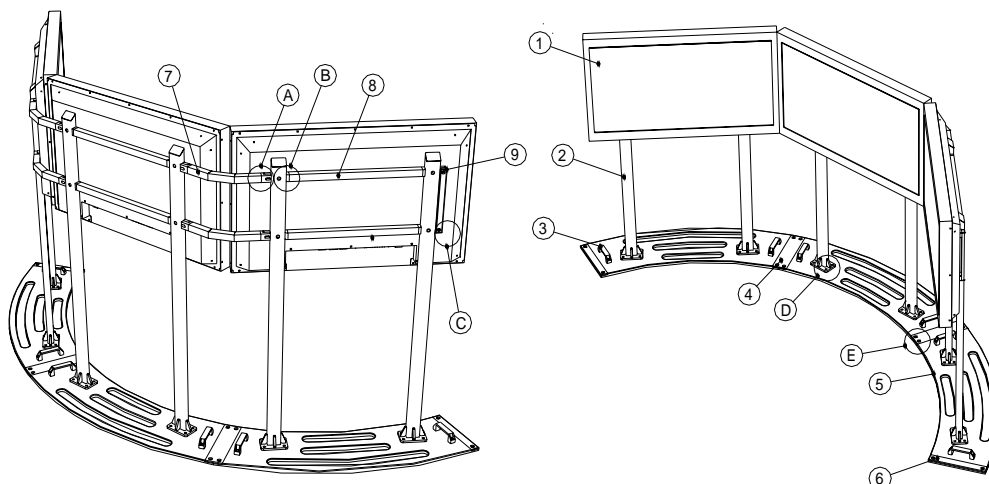
急にスピーカより音声が発生したりした場合、耳に障害を引き起こす原因となります。

◇ 本機の設置／移動を1人で行わないでください。

本機および本機の構成部品は本体重量の大きいものが多いため、設置／移動時には十分にご注意ください。本機を設置／移動する場合は2人以上で行ってください。

部品名称	説明	個数
1	MDF Cover-Rear Assembly	1
2	MDF Cover-Rear Right Assembly	1
3	MDF Cover-Rear Left Assembly	1
4	MDF Cover-Front Right Assembly	1
5	MDF Cover-Front Left Assembly	1
6	MDF Front Cover 1	1
7	MDF Front Cover 2	1
8	MDF Front Cover 3	1
9	MDF Front Cover 4	1
10	Rear Speaker Assembly	2
11	Caster	4
12	Parking Brake	1
13	Auto Gear	1
14	Steering Handle	1
15	Crash pad	1
16	Seat	1
17	Seat Belt Module	1
18	Seat Belt Bracket	1
19	Accelerator Pedal	1
20	Brake Pedal	1
21	Air Bag Module	1
C1	Vibration Pad-Under Crash pad	1
C2	Vibration Pad-Seat	1
C3	PDB Board	3
C4	Woofer Amp' Speaker	1
C5	Vibration Amp'	1
C6	DC Power Supply	1
C7	MDAQ Board	1
C8	Blanking	6
C9	Passive Steering Wheel Mech'	1

2-2. モニター



部品名称	説明	モデルNO	個数
1	Monitor 42' LCD	IDV-421FH	3
2	Mount Column		6
3	Carrying Handle		6
4	Joint Plate		2
5	Round Base plate		2
6	End-Bar		2
7	V-Bar		4
8	Center bar		6
A	Bolt(Round Button Shape)	M8 x 20L(SUS)	1
B	Bolt(Round Button Shape)	M8 x 45(SUS)	12
C	Bolt(Socket head)	M8 x 20L	1
D	Bolt(Round Button Shape)	M8 x 15L	24
E	Bolt(Champered Button Shape)	M8 x 15L	8

2-3. ケーブル類

2-3-1. 本体

区分	規格	用途	個数
電源入力ケーブル	AC 3 口 100V 5m	主電源	2
電源出力ケーブル	AC 3 口 100V 5m	電源出力	1
シリアルケーブル	D-sub 9Pin Female-Male 5m	MDAQ信号入出力	1
USBケーブル	Type A - Type A 5m	MDAQ信号入出力	1
オーディオケーブル	3.5mm Stereo 5m	オーディオ	3
USBケーブル	Type A - Type A 5m	予備用	1
Lanケーブル	RJ45	予備用	1
VGAケーブル	D-sub 15Pin Female-Female 5m	予備用	1



2-3-2. モニター

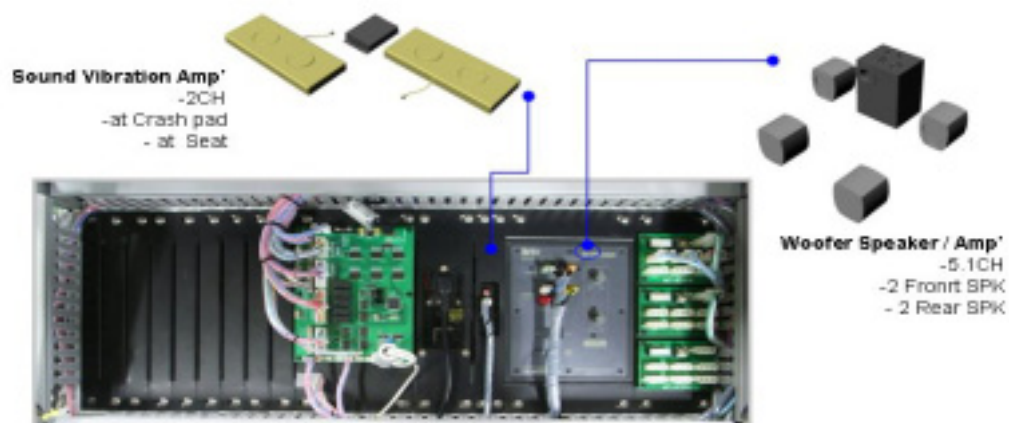
区分	規格	用途	個数
電源ケーブル	AC 3 口 100V 5m	主電源	3
VGAケーブル	D-sub 15Pin Female-Female 5m	映像出力	3



2-4. 音量/振動のボリュームを調整する

本節では、本機のスピーカー音量、アンプの音響レベルを調整する手順について説明します。

本機のウーファーユニット(以下、ウーファー)は本機背面の点検パネル内部の右側に設置されています(下図参照)。スピーカー、アンプの調整はウーファーのボリュームつまみで行います。



スピーカーの音量を調節する場合は、ウーファーに“VOLUME”と表記されたつまみを、アンプの音響レベルを調節する場合は“BASS”と表記されたつまみを使用します※¹。スピーカーの音量についてはWindows上でも調節可能ですので、本機の音量は“Max”あたりで固定し、細かい調整はWindows上で行うことをお勧めします※²。



-
- ※1) 音量の調整は少しずつ行うようにしてください。音量を急に上げたりしますと耳に障害を与える原因となります。
- ※2) Windows の音量の調節方法については、お使いの PC メーカーまたは Microsoft Corporation にお問い合わせください。
-

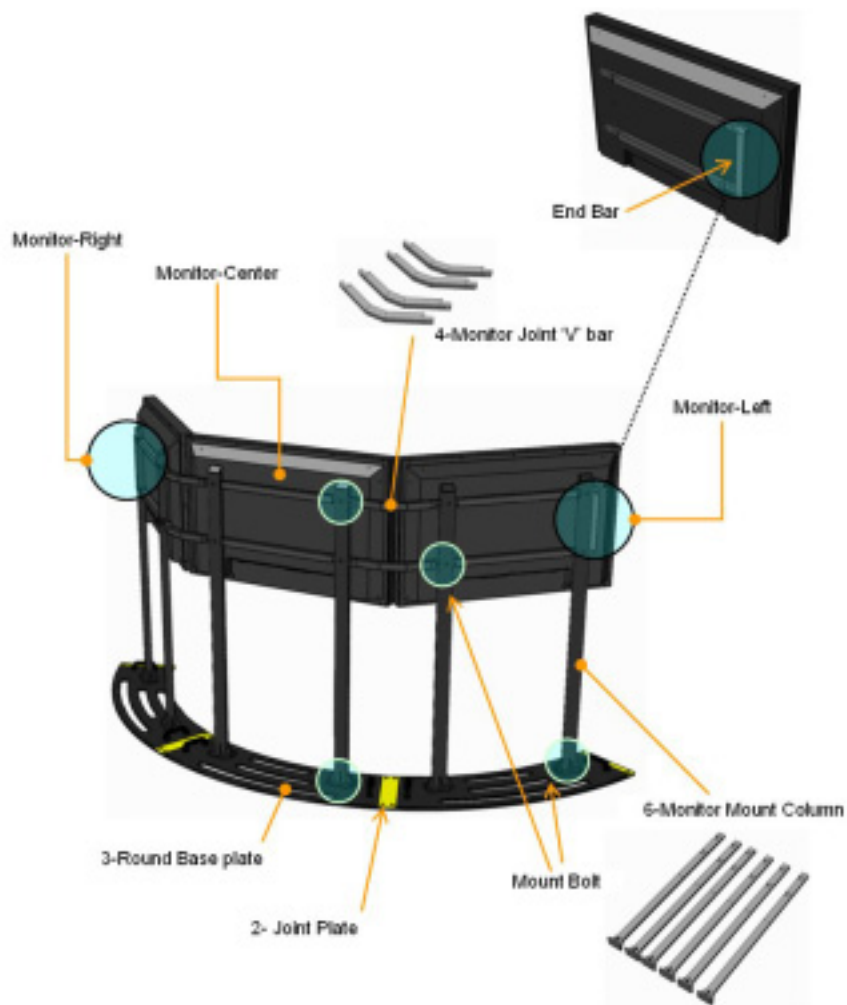
3. 本機の組立

下記の完成図を参考にしながら組み立て作業を進んで下さい。

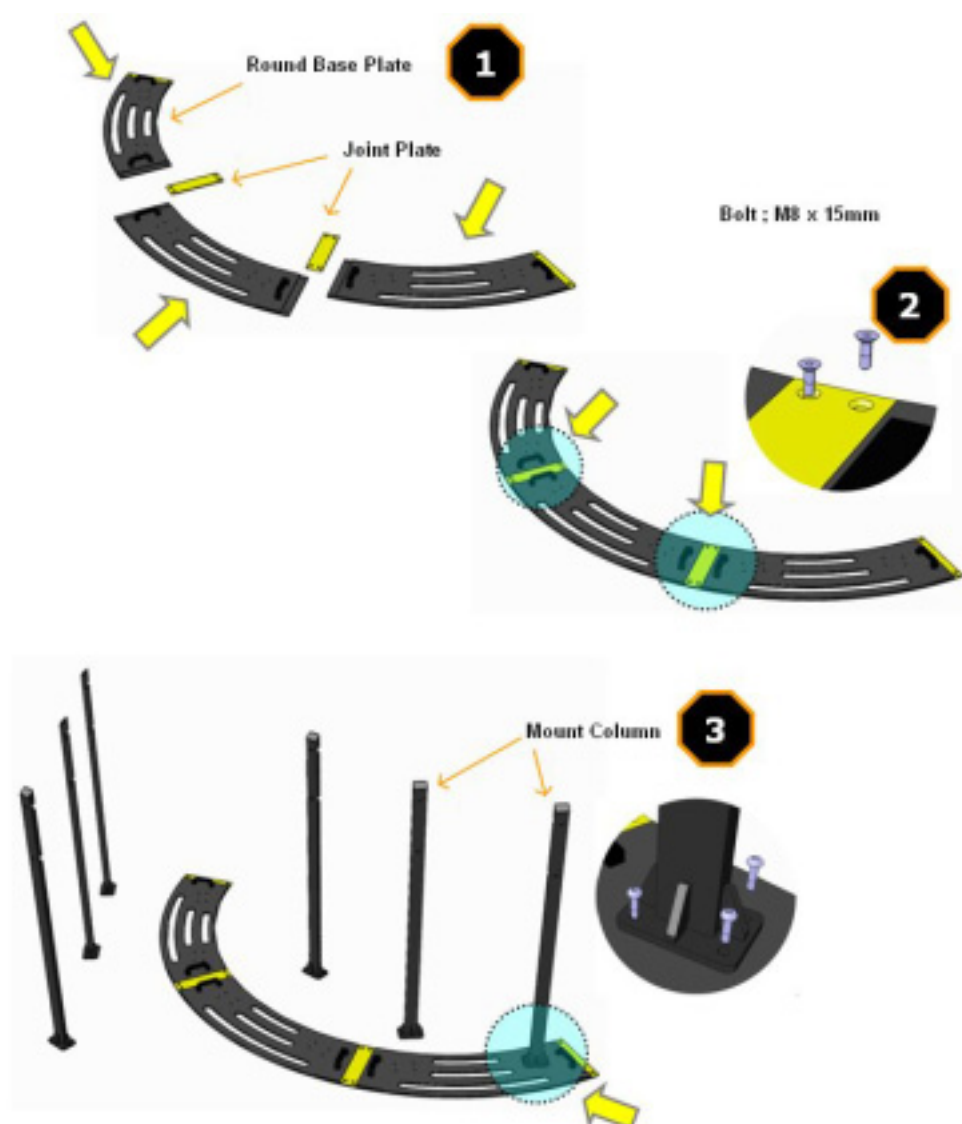
全体完成図



モニター組み立て完成図

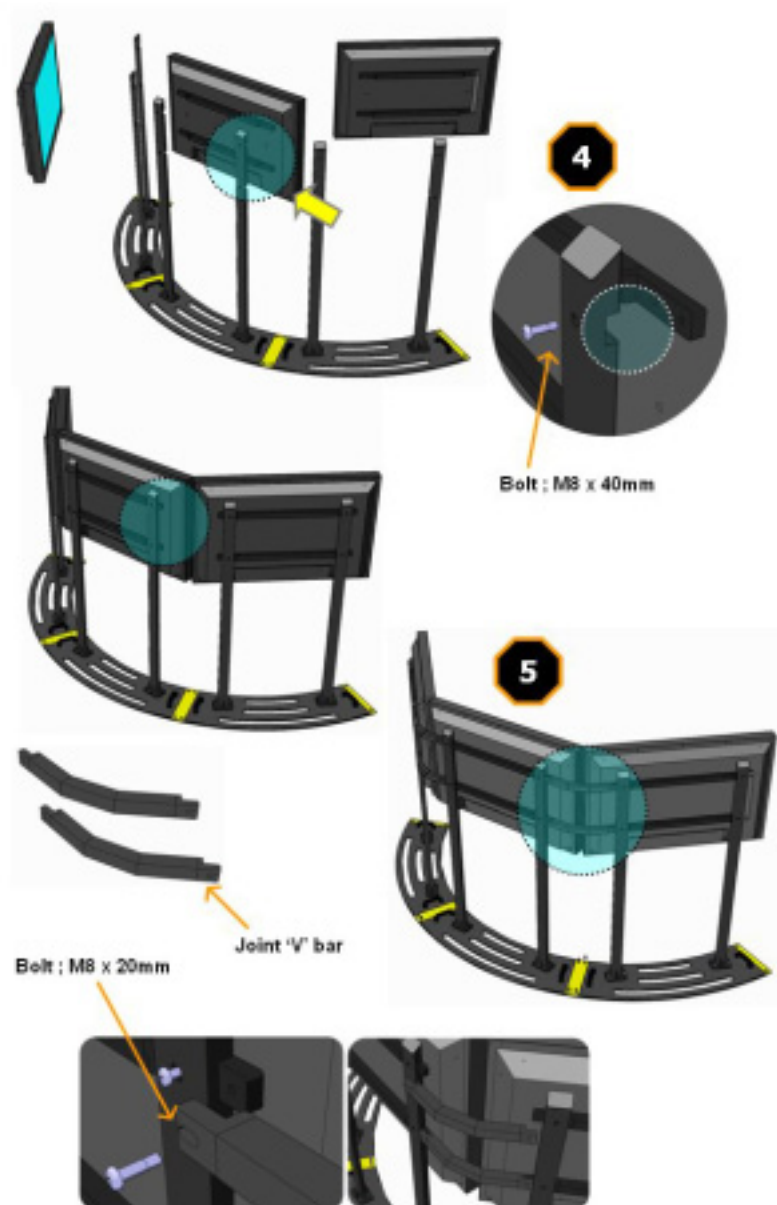


①下記の順番でモニターブラキットを組み立てます。

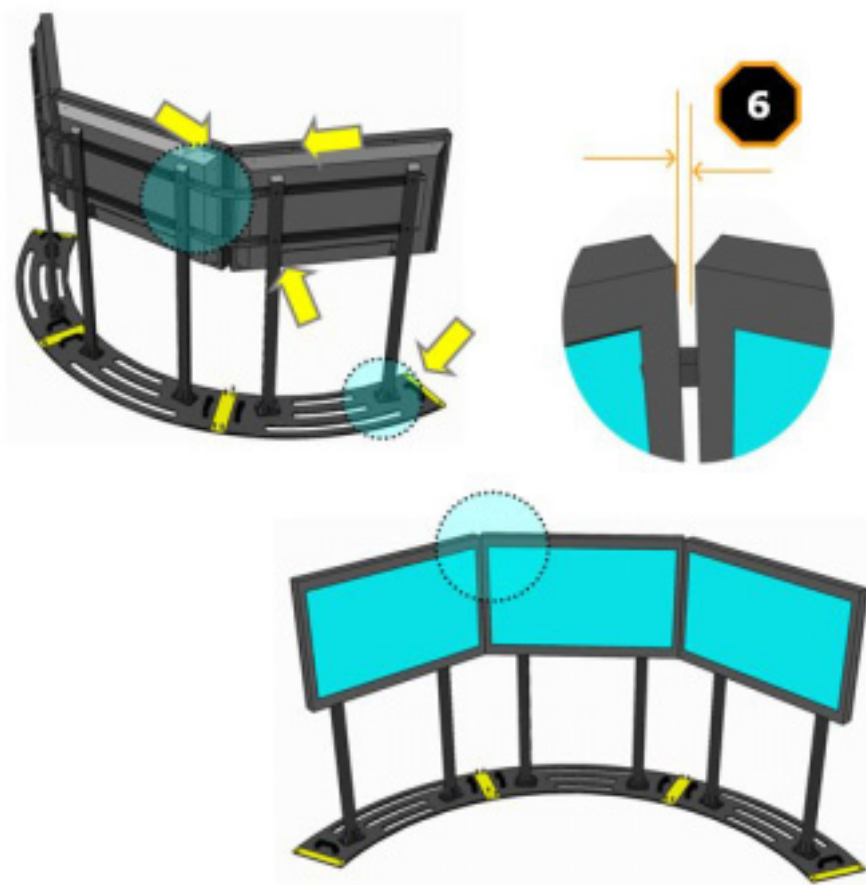


②下記の順番のようにモニターを組み立てます。

(*注意:すべてのボルトは完全に締めないで下さい。強く締めると両側の合わせ作業がしにくくなります。)



③上記のVバーの組み立てまで終了しましたらそれぞれのボルトを強く締めます。



④組み立てが終了しましたら本機の位置を決めて Caster を固定します。

⑤本機とPCにケーブルを接続します。(次のページ参照)

4. コンピュータに接続する

本節では、本機とPCとを接続する際の注意事項について説明します。

※)本作業を行う前に、本機およびPCの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

本機背面のI/Oボード上には以下の構成、配置で各接続端子が設けられております。



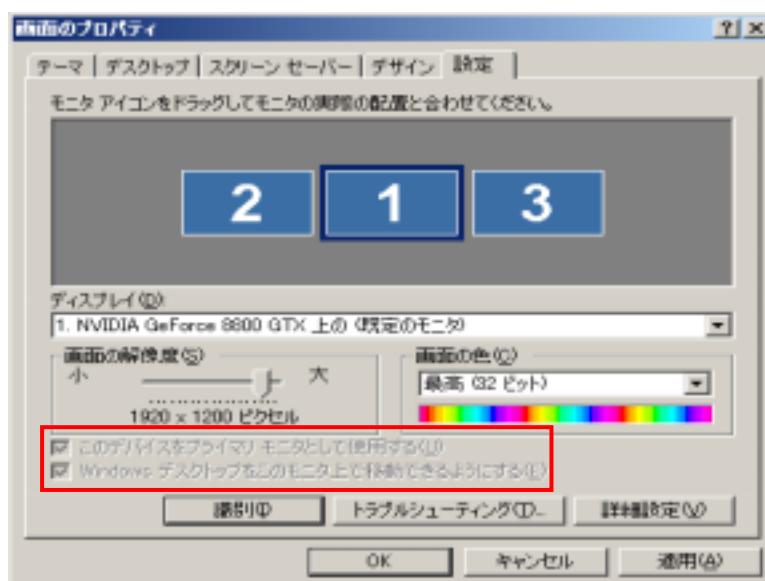
4-1. モニタケーブルの接続

本機のモニタ(3画面)とお使いのPCの接続について説明します。本機のモニタとPCは付属のD-Sub15pinタイプのケーブルを使用します。それぞれのモニターケーブルをモニターとPCに直接接続します。ここで、VGA1～3は下図のような位置構成となっております。



4-2. 映像出力の設定

画面のプロパティを開き、“設定”タブを開きます。各モニターアイコンを選択し、“Windowsデスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする”にチェックを入れます(1番目の画面はさらに“このデバイスをプライマリ モニタとして使用する”にチェックします)。次いで、モニターアイコンをドラッグし、実際のモニタの配置と合うように設定します。



“OK”を押して確定します。以上でWindows側の設定は完了となります。

4-3. その他のケーブルの接続

コネクタ名称		説明
AC Power	AC IN1	コンセントに接続し、上のスイッチを“-”に入れます
	AC IN2	コンセントに接続し、上のスイッチを“-”に入れます
	AC OUT	PCの電源に接続します※1
USB HUB1-4		内部に接続されていないため使用できません
AUDIO	FR	PC側サウンドカードの黄緑色の端子に接続します
	CEN	PC側サウンドカードのオレンジ色の端子に接続します
	RE	PC側サウンドカードの灰色の端子に接続します
VGA1-3		内部に接続されていないため使用できません ※各モニターケーブルをPC側のビデオ出力に直接接続します
Serial1-5		1番のみ使用可能（2～5は使用できません）
LAN		内部に接続されていないため使用できません
USB		外側2ポートのみ使用します（内側2ポートは使用できません）

※1) 本機より PC に電源を供給した場合、本機の電源を OFF にしますと PC への電源供給も併せて遮断されてしまいますのでご注意ください。本機の電源 ON/OFF のみを切り替えたい場合には、PC の電源を別途ご用意ください。

※2) 接続方法の詳細については、お使いの PC メーカーにお問い合わせください。

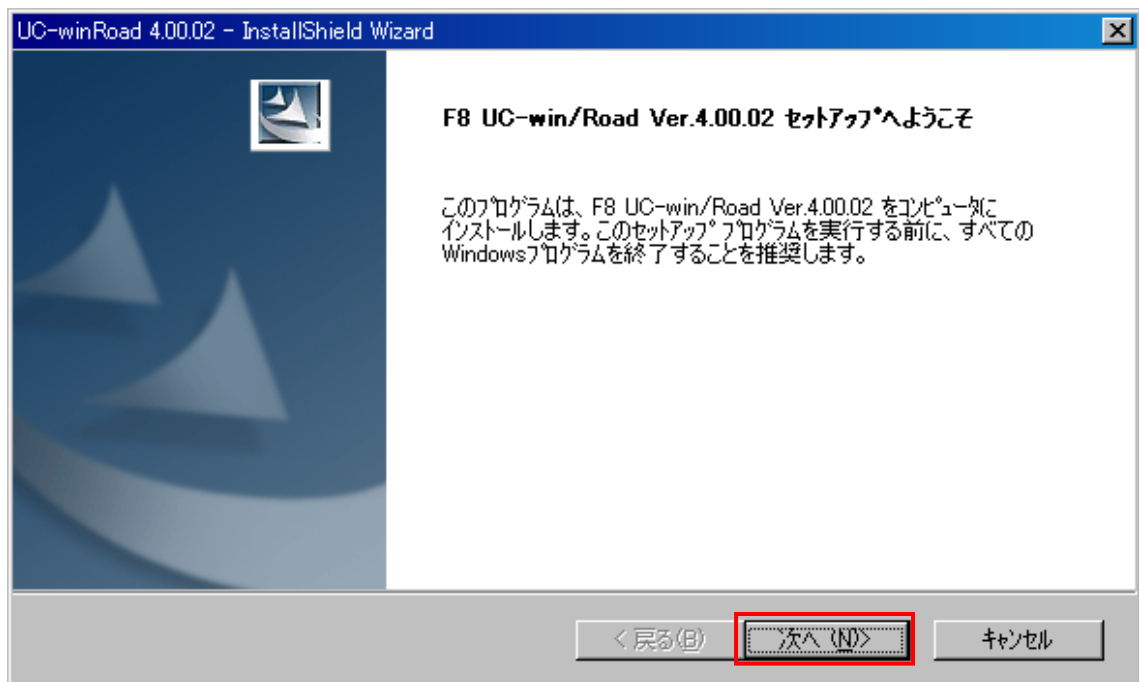
5. UC-win/Road のセットアップ

本節では、UC-win/Roadの製品版およびカスタマイズバージョンへの更新に関して説明します。
※ドライブシミュレータのUSB(2個)を挿す前に行ってください。

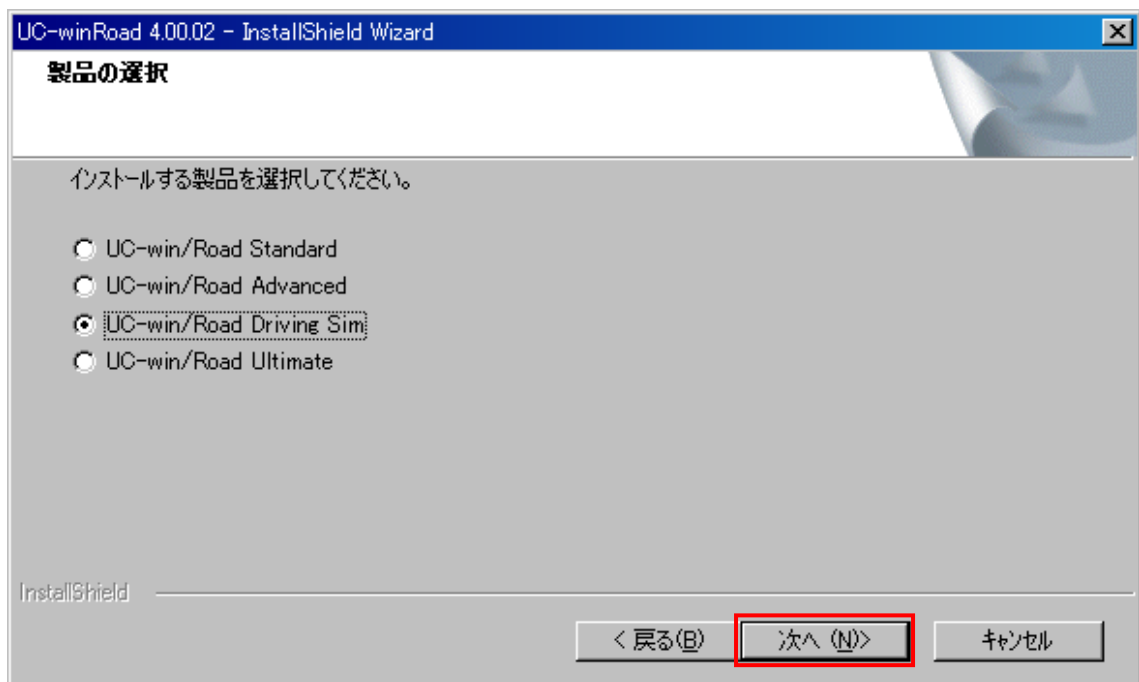
5-1. 製品版のインストール

CDドライブに本プログラムのインストールディスク1を挿入しますと、インストールプログラムが自動的に起動します。セットアップが自動で起動しなかった場合は、CD内の“Setup.exe”をダブルクリックしてインストールプログラムを直接起動させます。セットアップ画面が表示されましたら、“次へ”を押します。



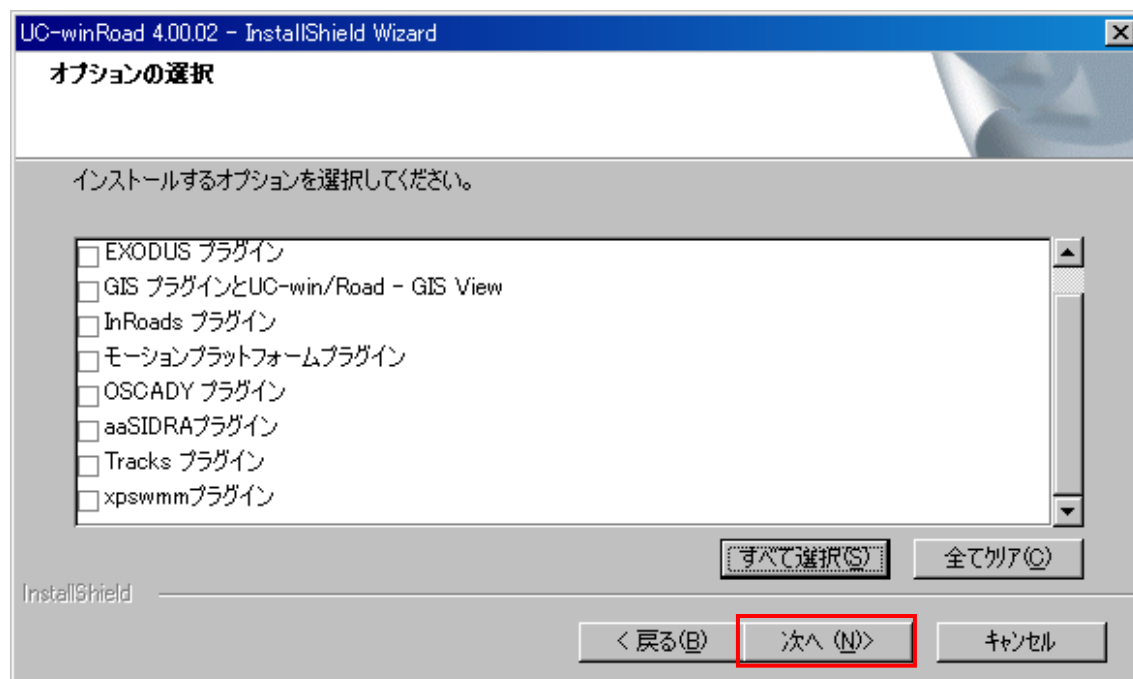


インストールする製品を選択します。購入されたバージョンを正しく選択し、“次へ”を押します
(カスタマイズ版を購入された場合は、いずれのバージョンを選択しても構いません)。

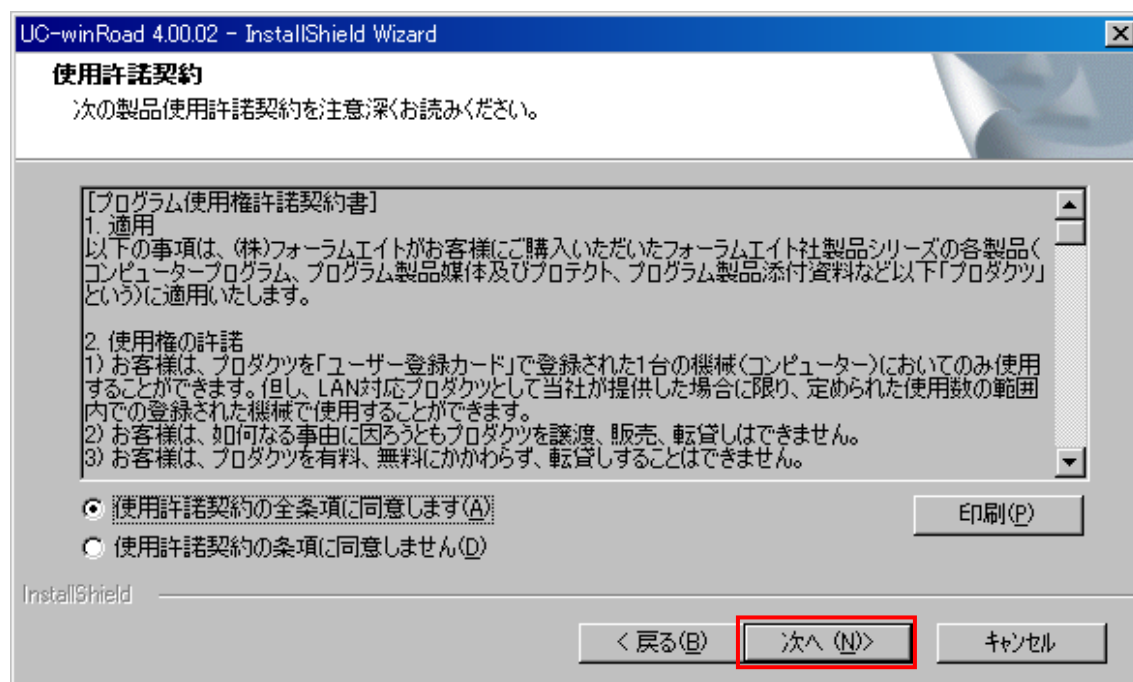


次の画面で「ドライビングシミュレーションプラグイン」にチェックし“次へ”を押します。

※前の画面で「UC-win/Road Driving Sim」を選択した場合は「ドライビングシミュレーションプラグイン」が表示されませんのでそのまま“次へ”を押します。



使用許諾の内容を確認し、同意されましたら “使用許諾契約の全条項に同意します”を選択し“次へ”を押します。



ユーザー名、会社名を入力して“次へ”を押します。

※)ユーザー名、会社名は必ず入力してください。

UC-winRoad 4.00.02 - InstallShield Wizard

ユーザー情報
情報を入力してください。

ユーザー名、および会社名を入力してください。

ユーザー名 (U):
user

会社名 (C):
forum8

InstallShield

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

インストールのオプションを選択し、“次へ”を押します。インストールのオプションは、お使いの環境にあったものを選択してください(通常の場合、“標準”を選択することをお奨めいたします)。

UC-winRoad 4.00.02 - InstallShield Wizard

セットアップタイプ
インストールするセットアップタイプを選択します。

使用するセットアップタイプをクリックしてから、[次へ]をクリックします。

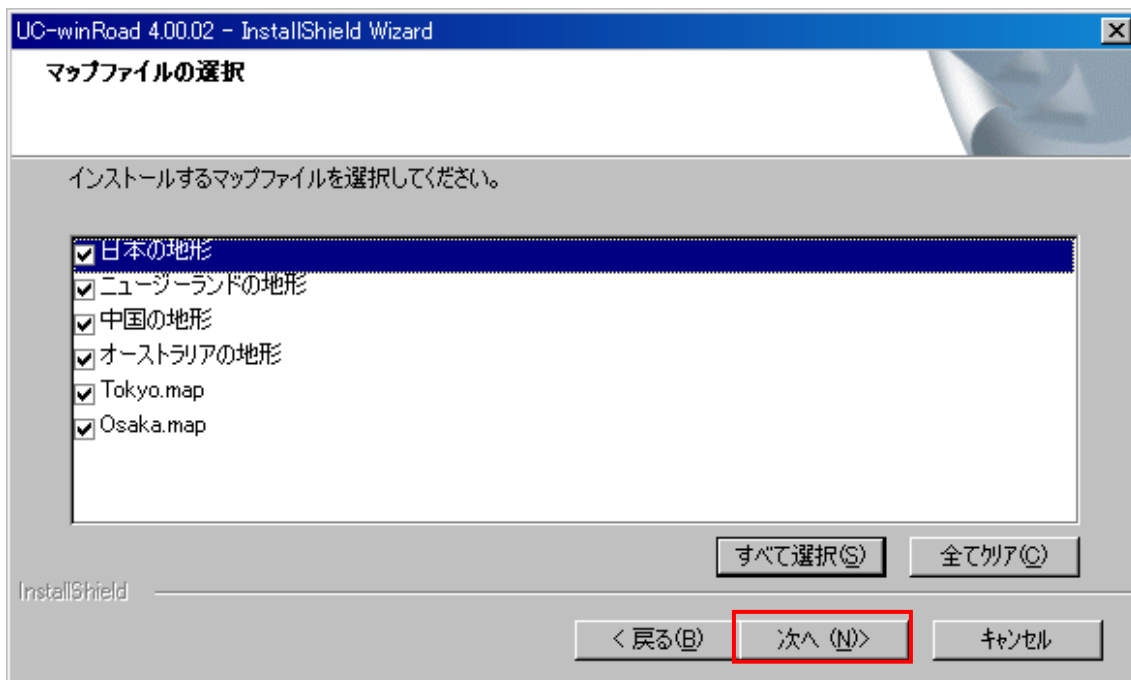
☒ **標準 (T)** プログラムを最も一般的なオプションでインストールします。一般のユーザーにお勧めします。

☐ **コンパクト (C)** プログラムを必要最小限のオプションでインストールします。

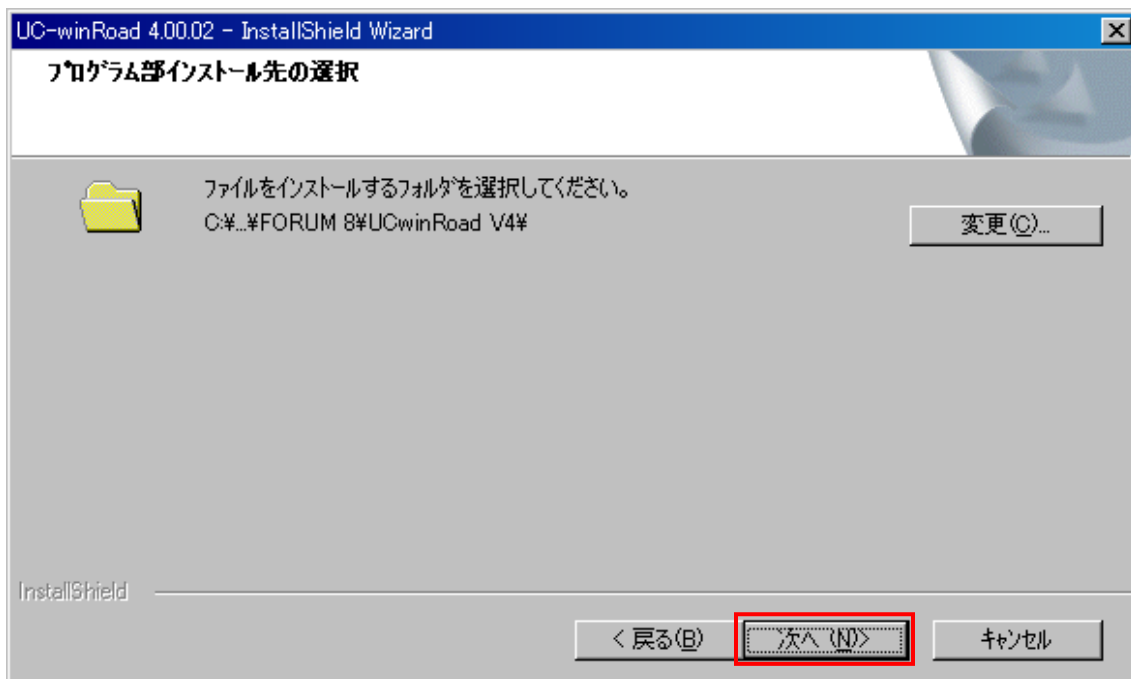
☐ **カスタム (U)** インストールするオプションを選択できます。高度なユーザーにお勧めします。

InstallShield

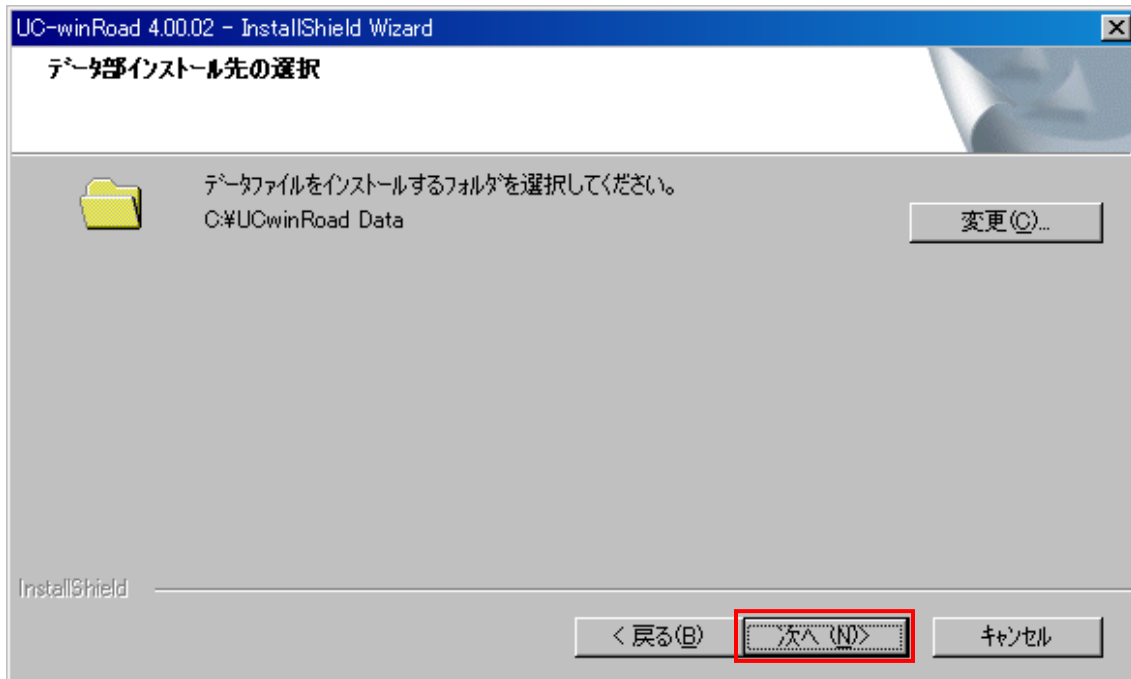
< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル



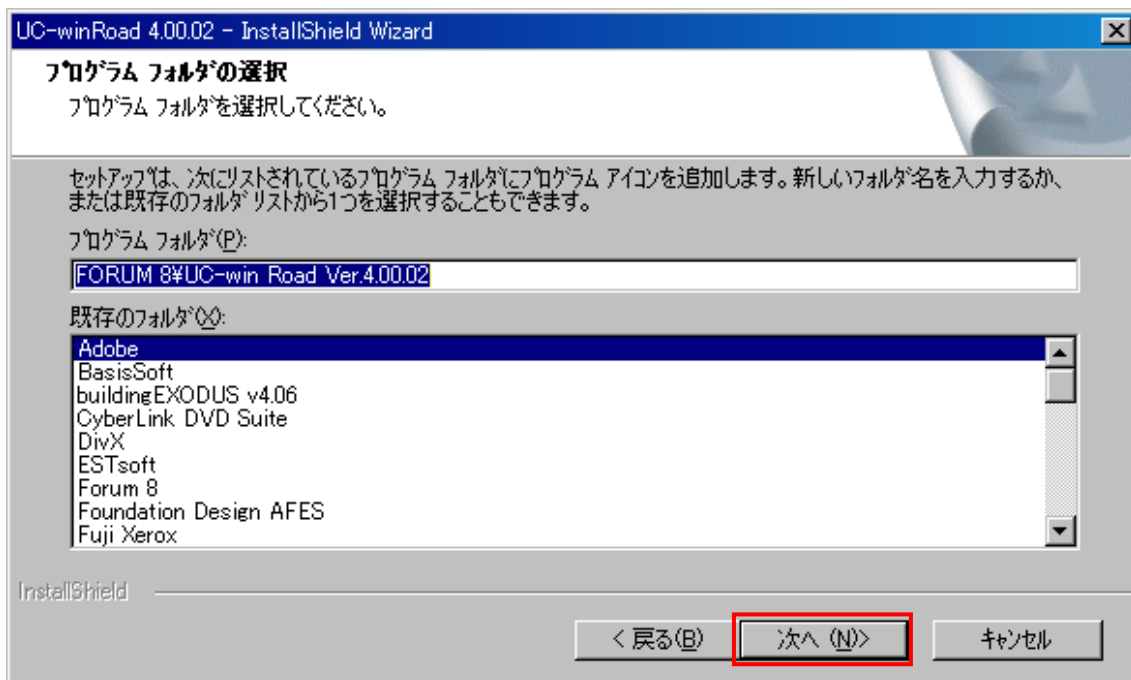
プログラム部をインストールするディレクトリを指定します。変更の必要がなければ“次へ”を押します。デフォルトのインストール先は“(ローカルディスク):¥Program Files¥Forum 8¥UcwinRoad V4”となります。



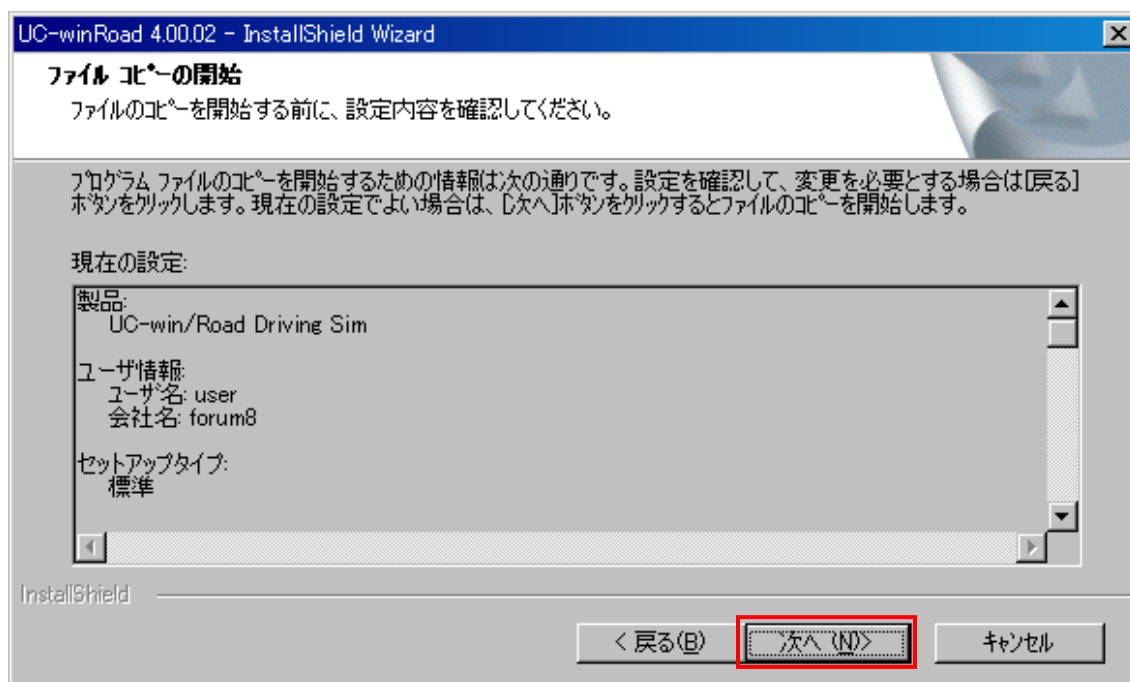
データ部をインストールするディレクトリを指定します。変更の必要がなければ“次へ”を押します。デフォルトのインストール先は“(ローカルディスク):¥UcwinRoad Data”となります。



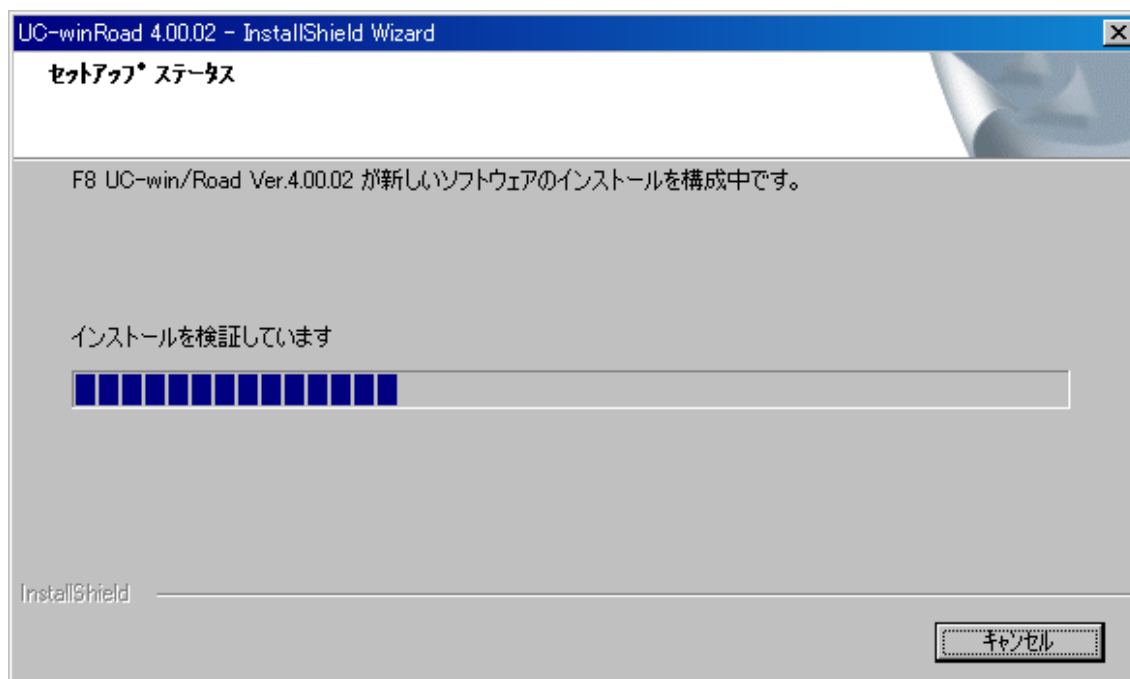
“次へ”を押します。



“次へ”を押します。

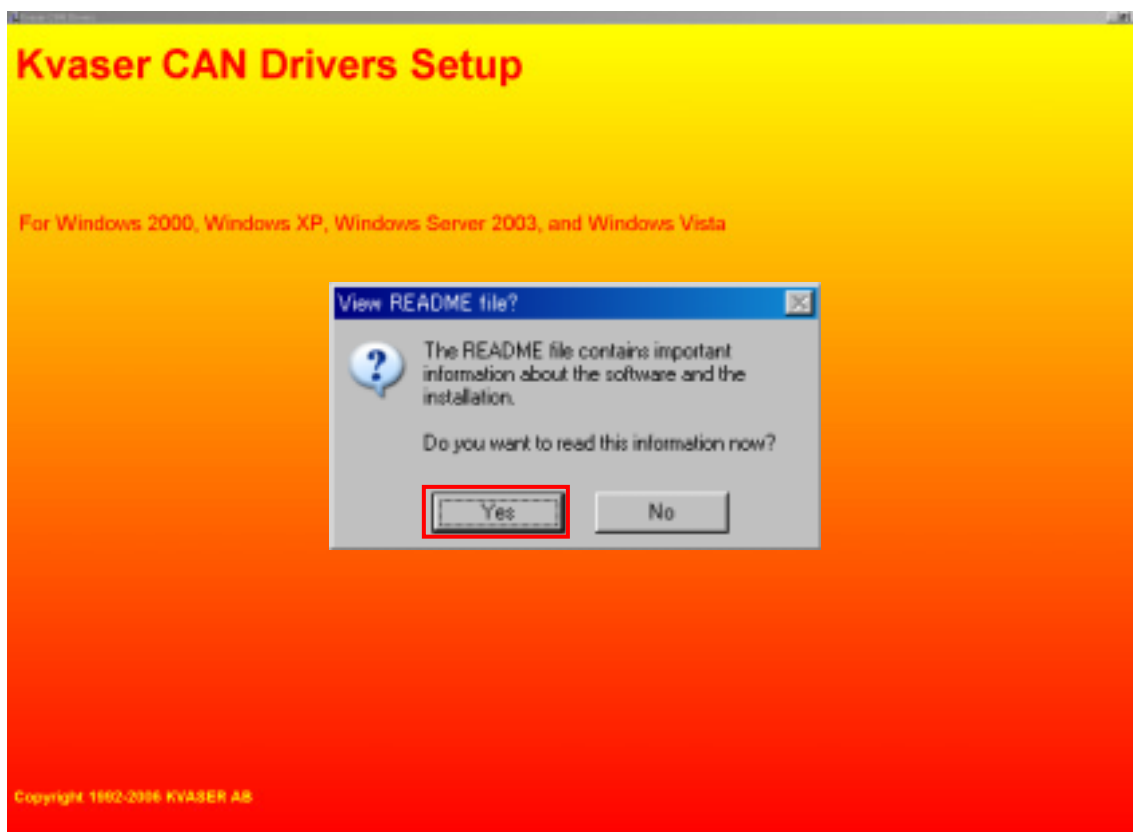


インストールが始まります。

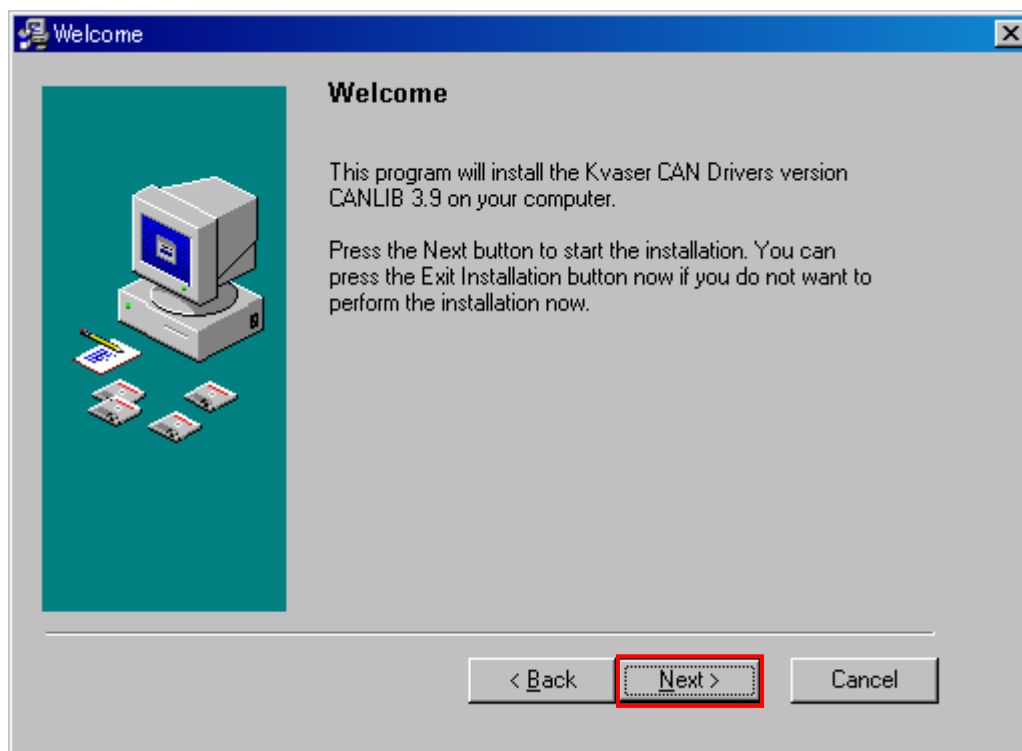


製品のセットアップが終わると自動的にドライブシミュレータシミュレータードライブセットアップが

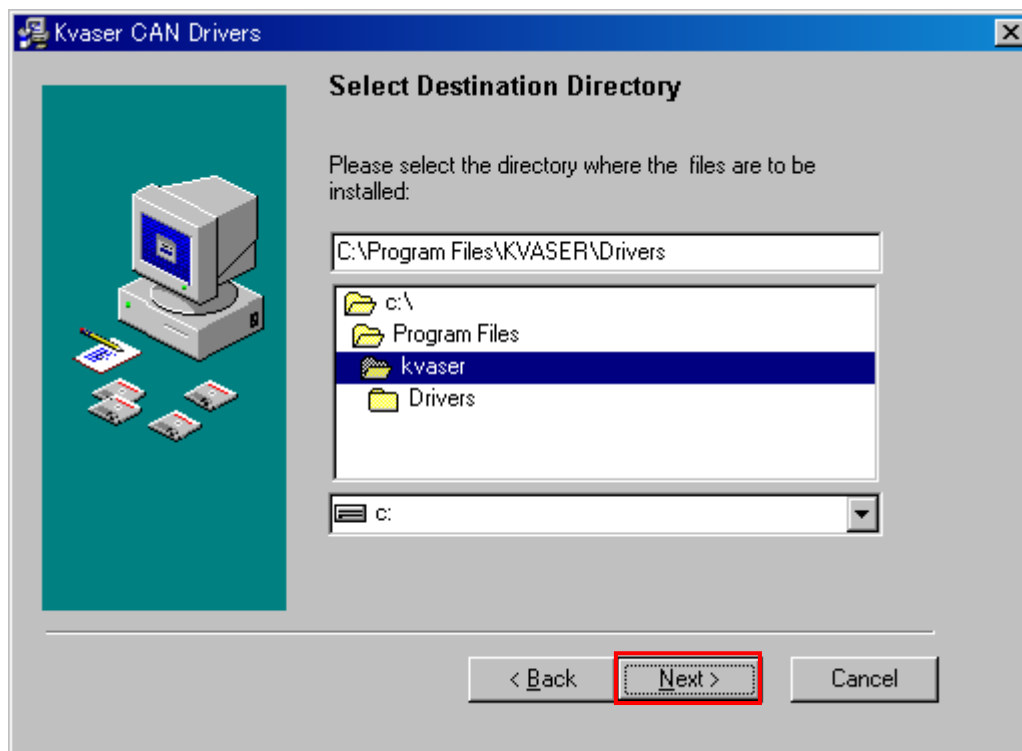
始まりますので“Yes”を押します。



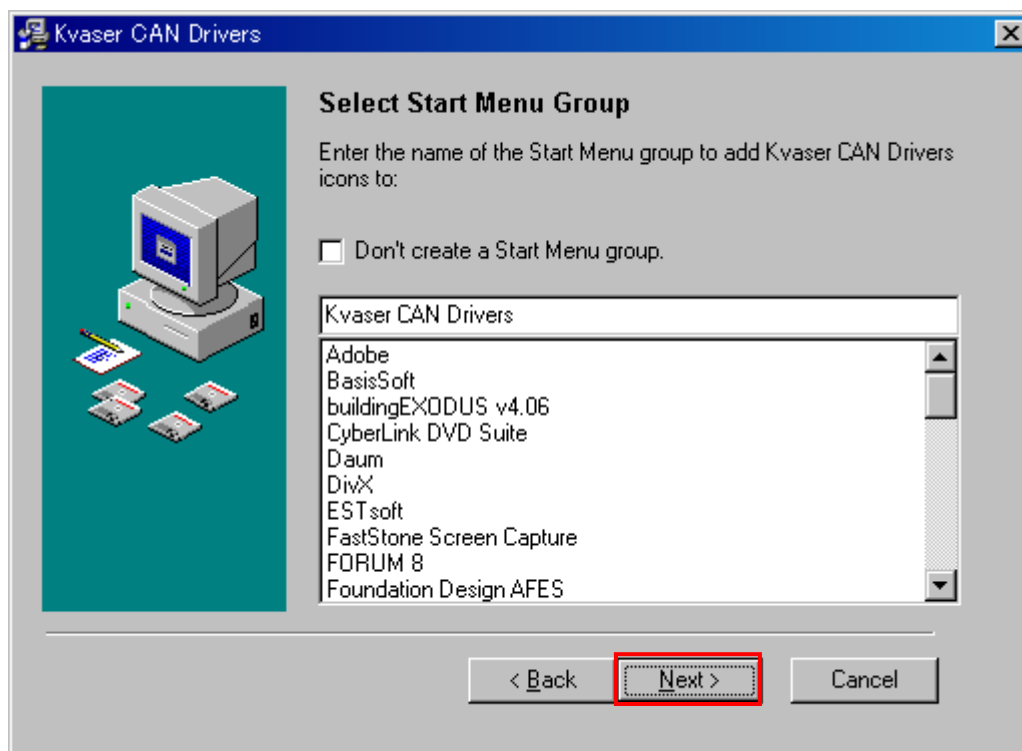
“Next”を押します。



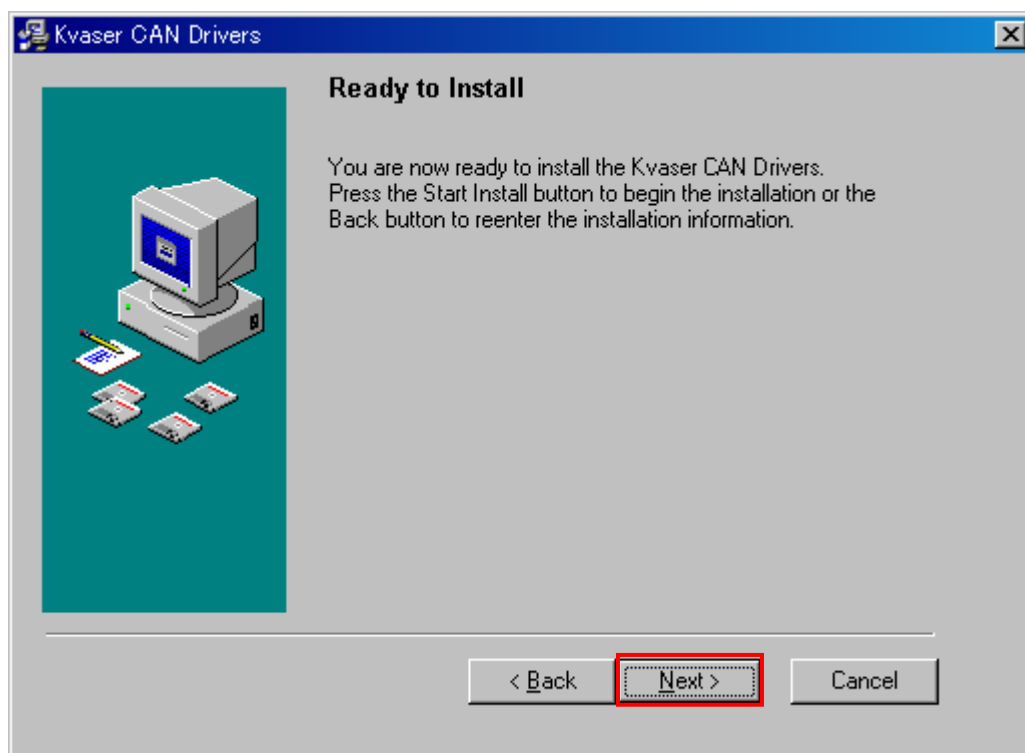
“Next”を押します。



“Next”を押します。



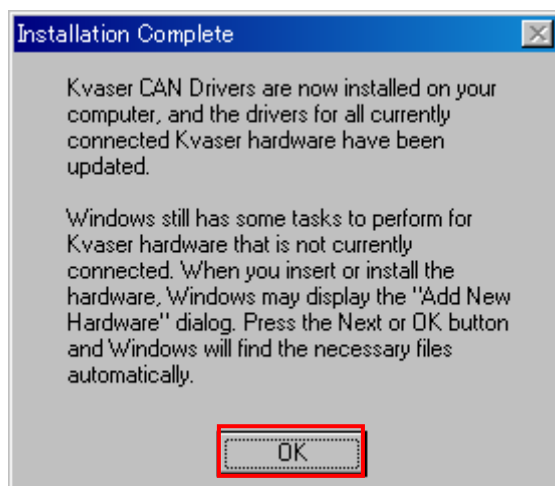
“Next”を押します。



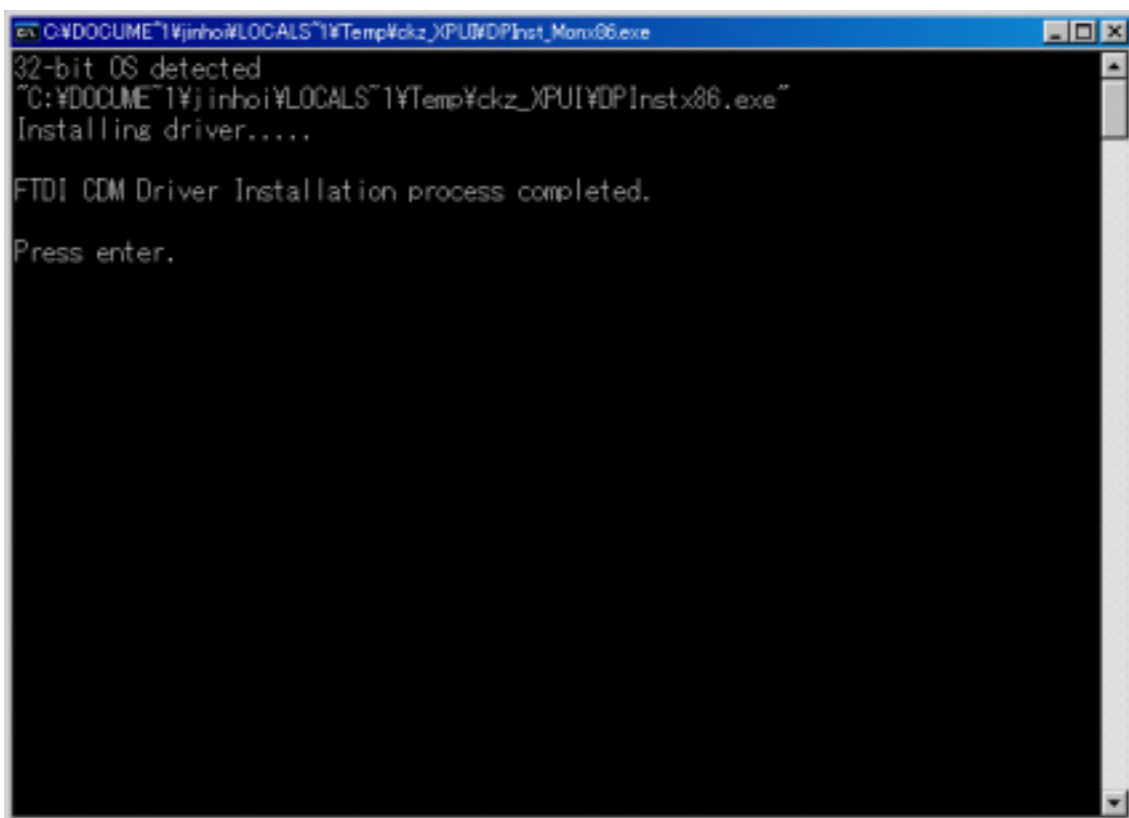
下記のようにインストールされます。



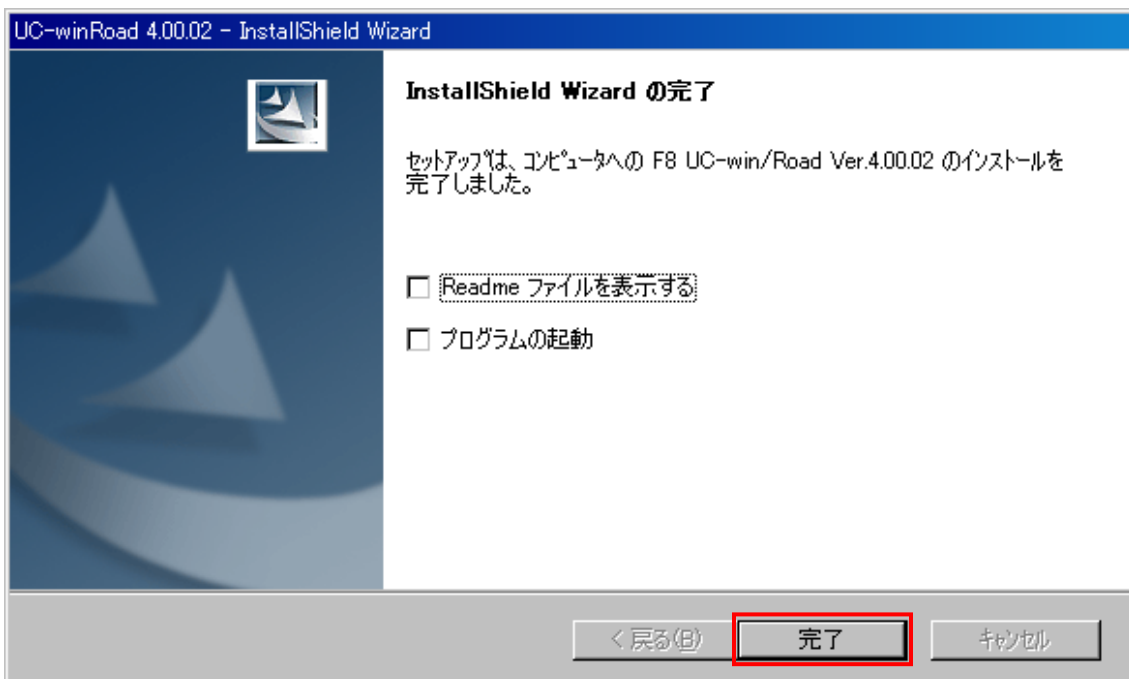
“OK”を押します。



“Enter”を押します。



“完了”を押し、セットアップを終了します。

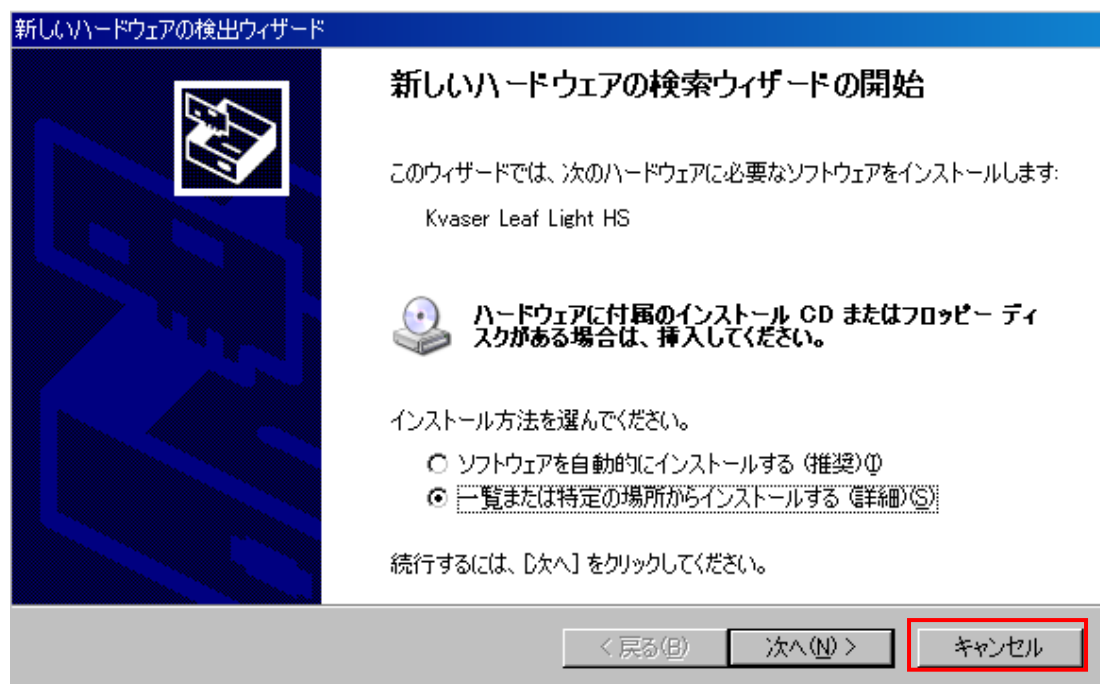


以上で製品版プログラムのセットアップは完了となります。

5-2. ドライブシミュレータのドライバの手動インストール

5-1章のセットアップの前にドライブシミュレータのUSBを挿した場合、接続後、新規ハードウェア検出のWindowsウィザードが(自動的に)開始されますので下記の指示に従ってください。

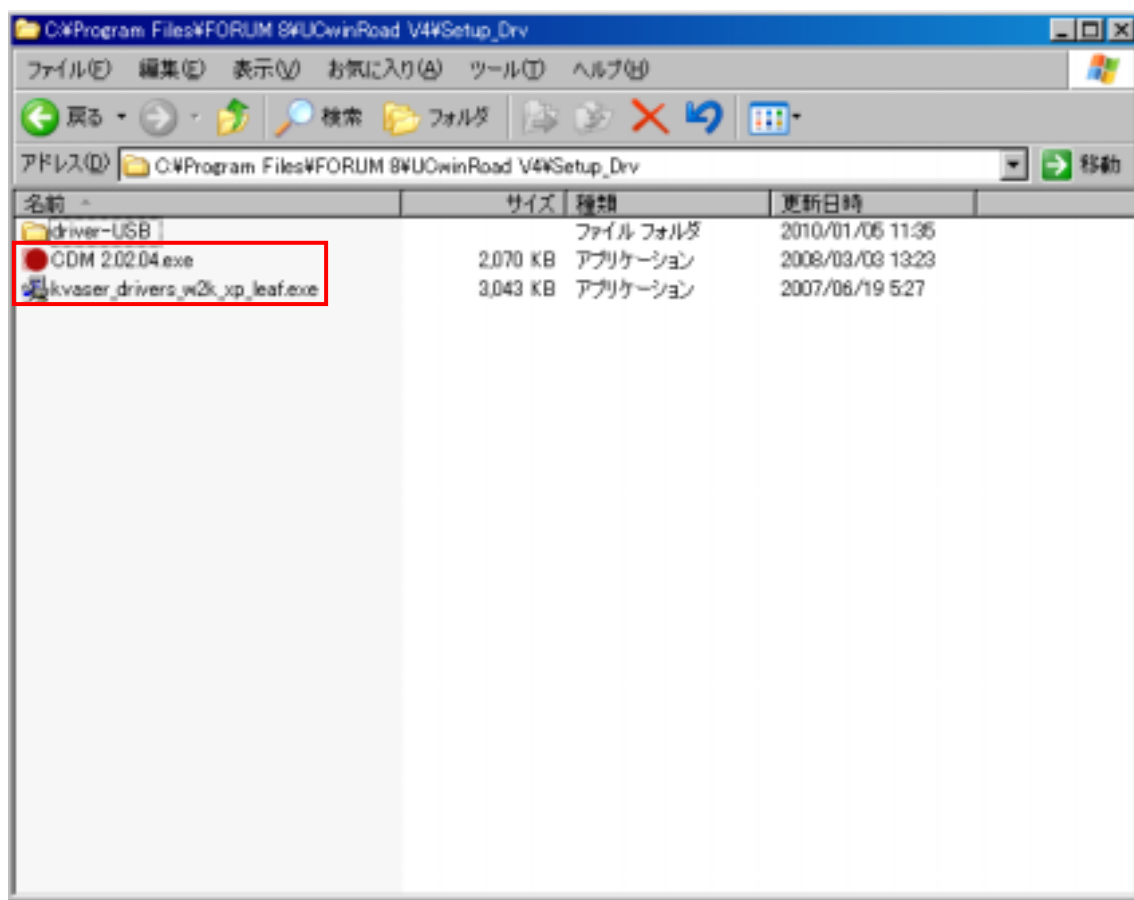
システムがKvaser(kvaser_drivers_w2k_xp_leaf.exe)とControl Board(CDM 2.02.04.exe)のドライバをインストールするよう問い合わせてきますのでキャンセルし閉じて下さい。



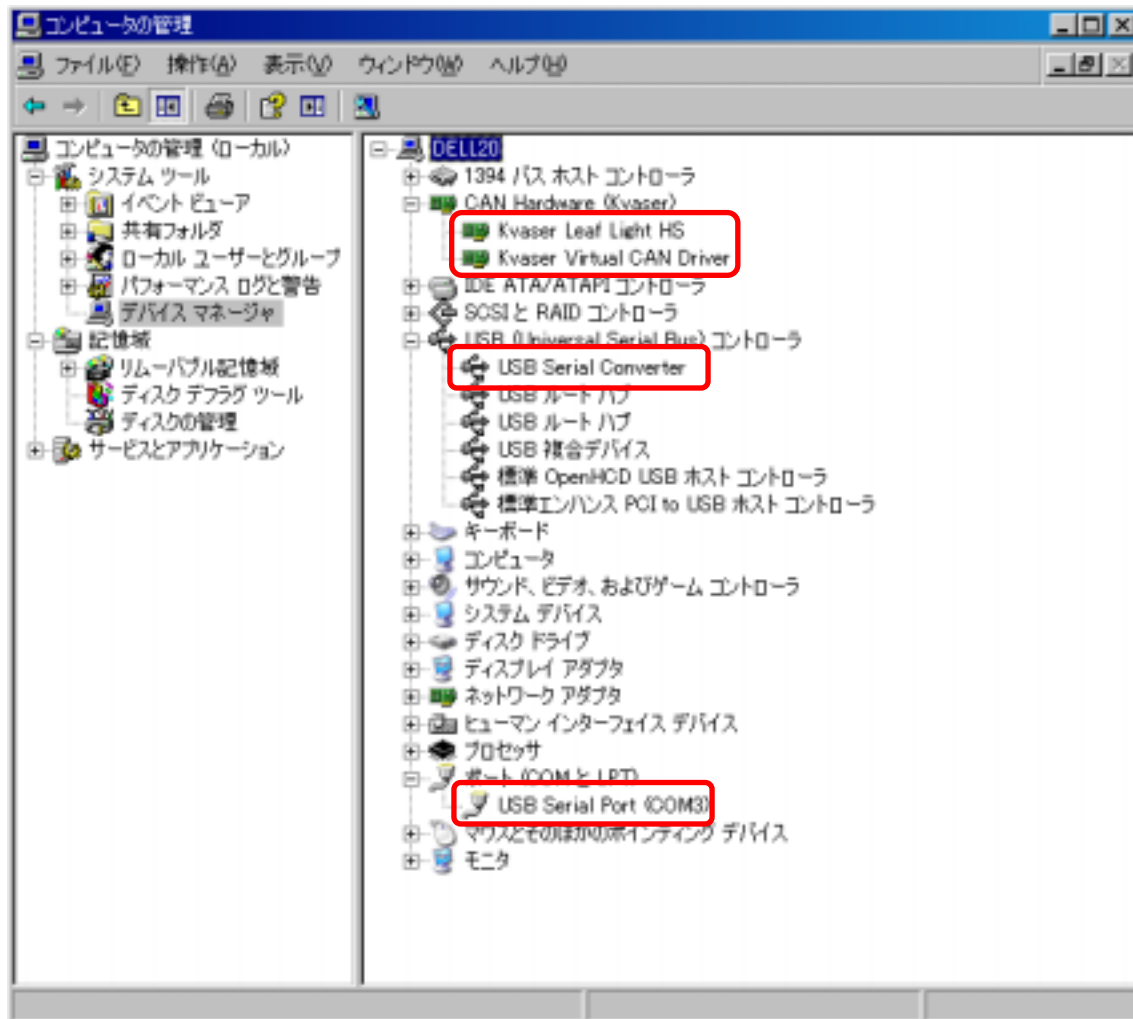
それぞれのドライバを直接ダブルクリックしインストールして下さい。

“(ローカルディスク):¥Program Files¥Forum 8¥UcwinRoad V4¥Setup_Drv”の中の「kvaser_drivers_w2k_xp_leaf.exe」、「CDM 2.02.04.exe」

※5-1章のセットアップ参照



デバイスマネージャを起動して下記のように表示されましたら正常にインストールされたこととなります。

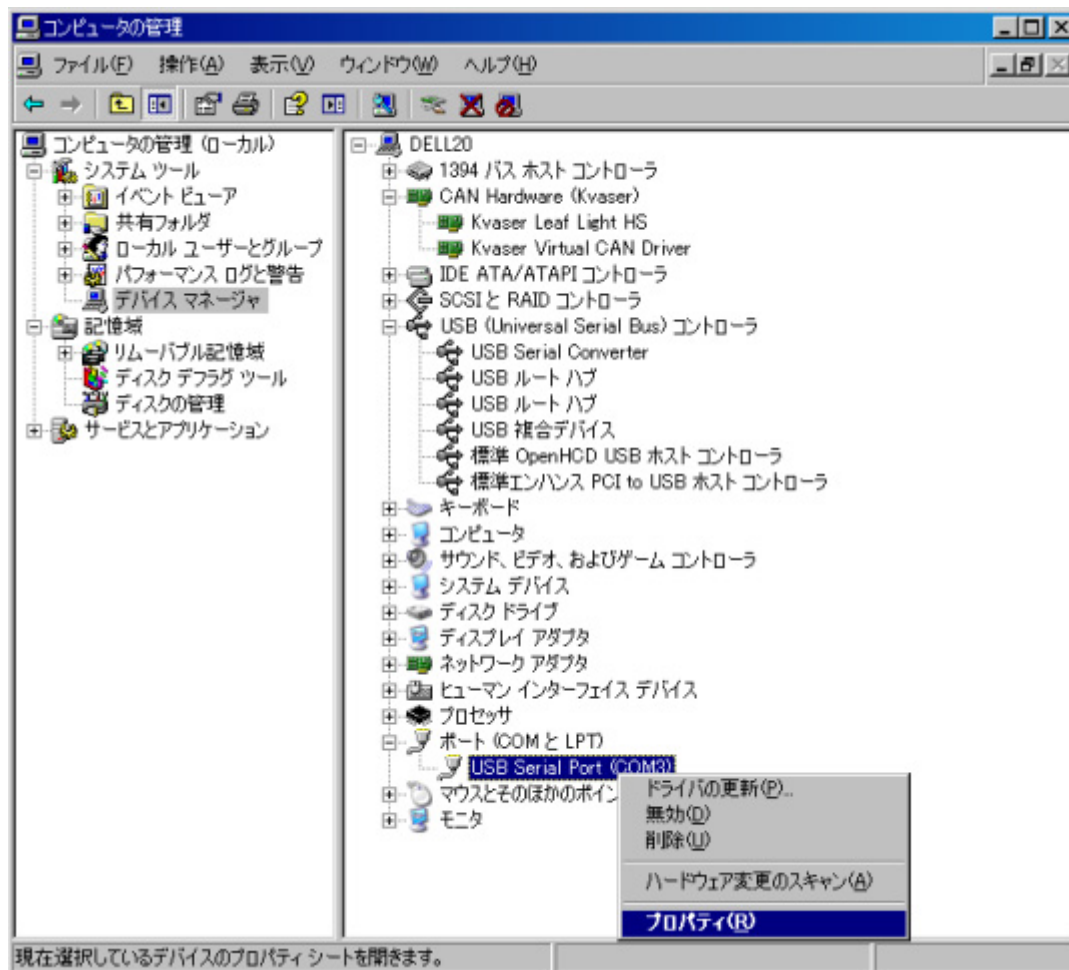


※COMポート番号のチェック

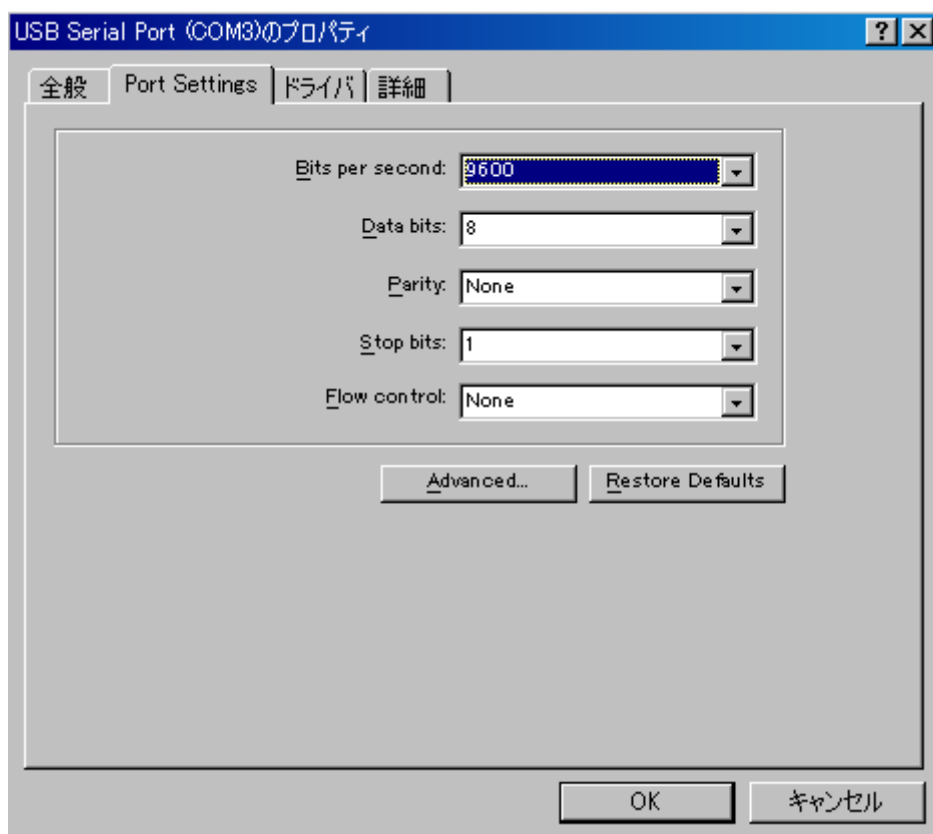
正常にドライバがインストールされましたら上記の画面のようにポート(COMとLPT)に新しくUSB Serial Port(COM番号)が追加されますが、そのCOM番号が9より大きいときは9以下にする必要があります。

9以下に設定するには以下の手順に従ってください。

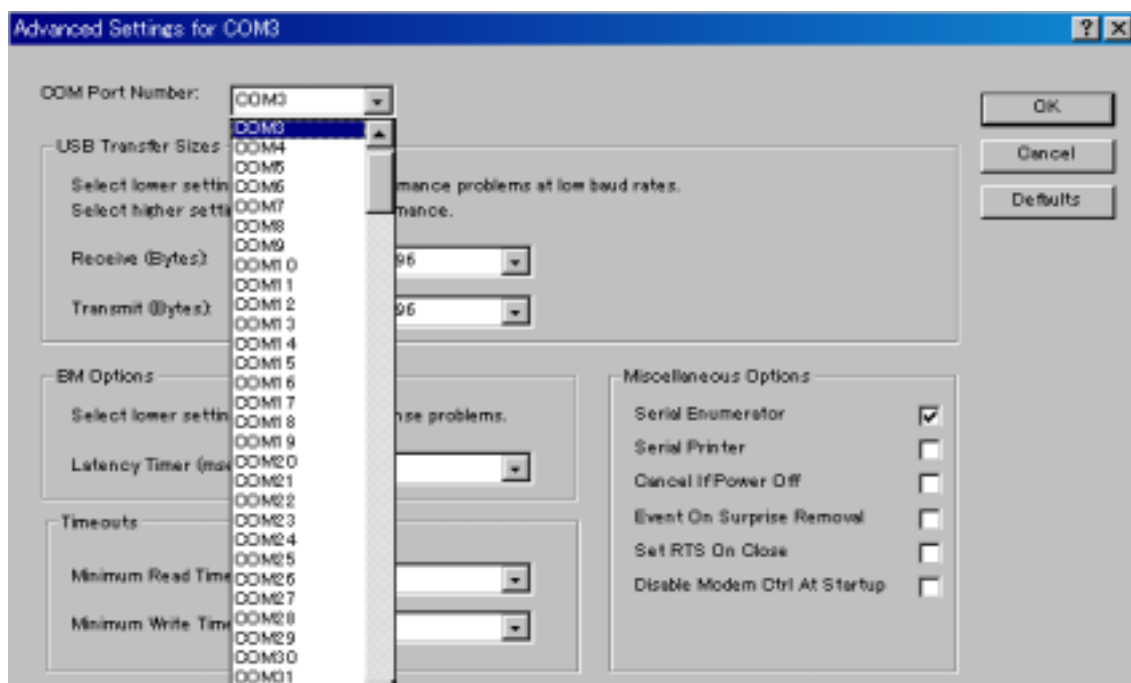
1. USBシリアルポートを右クリックしプロパティを開きます。



2. Port Settingsタブを開き、Advanced... ボタンをクリックします。



3. COM Port Number を未使用の 9 以下の番号に設定し「OK」を押せば設定終了になります。



5-3. UC-win/Road のカスタマイズ版への更新

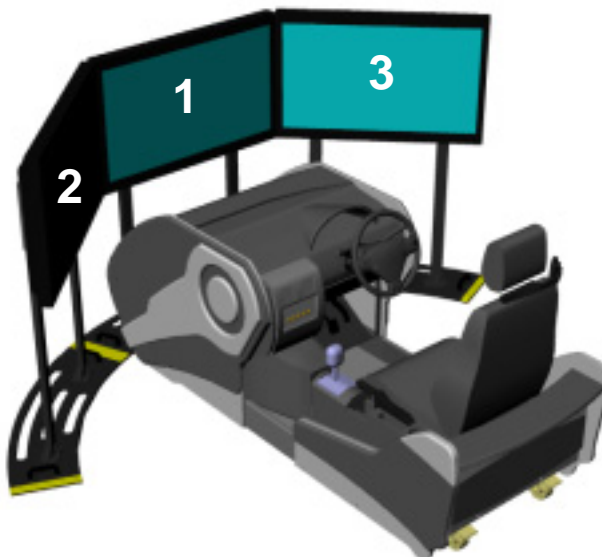
UC-win/Roadカスタマイズバージョンを購入されている場合、製品版のプログラムに差分ファイルを上書きすることでカスタマイズ版に更新させることができます。

ドライブシミュレータ用のプラグインをプログラムのインストール先にコピーします。カスタマイズ版プログラムのディスクをCDドライブに挿入し、CD内にあるファイルを全てインストール先の“(ルートディレクトリ):¥UCwinRoad V4”に上書きコピーします。

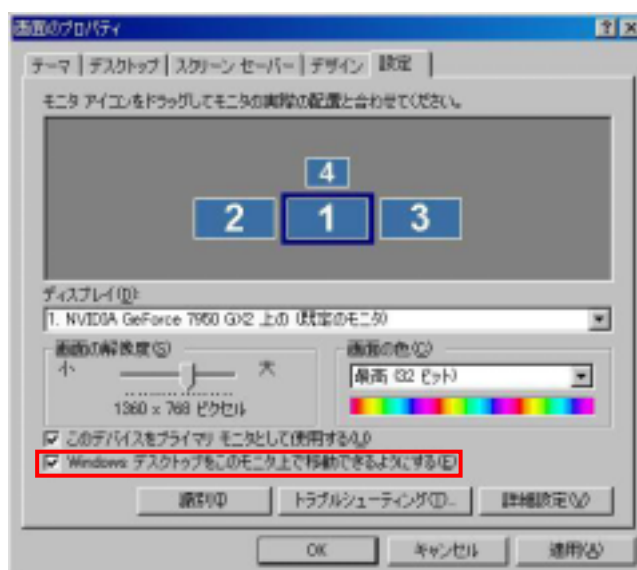
以上でカスタマイズ版プログラムのセットアップは完了となります。

6. 映像出力の設定

プログラムを起動する前に、モニタの配置を調整します。ここでは、1～3番のモニタをDS側モニタ、4番のモニタを追加の小型モニタとして説明します。



画面のプロパティを開き、“設定”タブを開きます。各モニタアイコンを選択し、“Windowsデスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする”にチェックを入れます(1番目の画面はさらに“このデバイスをプライマリ モニタとして使用する”にチェックします)。次いで、モニタアイコンをドラッグし、実際のモニタの配置と合うように設定します(4画面で 사용되는場合、4画面目のモニタの位置は任意で構いません)。

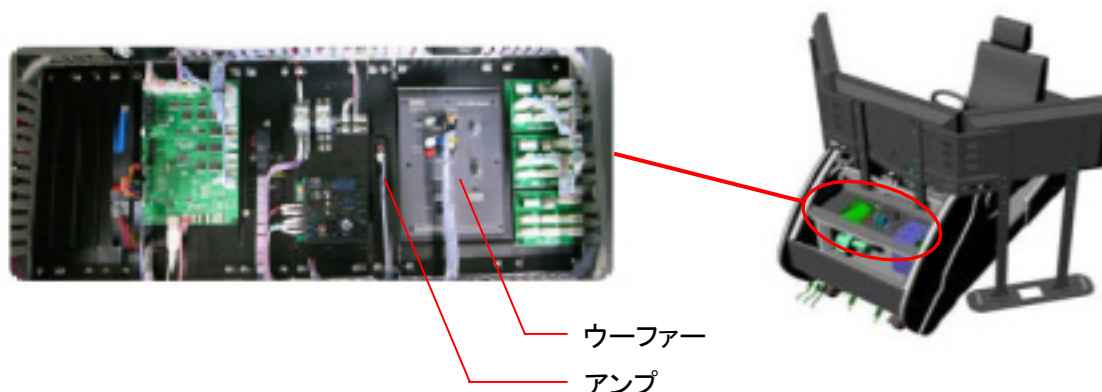


“OK”を押して確定します。以上でWindows側の設定は完了となります。

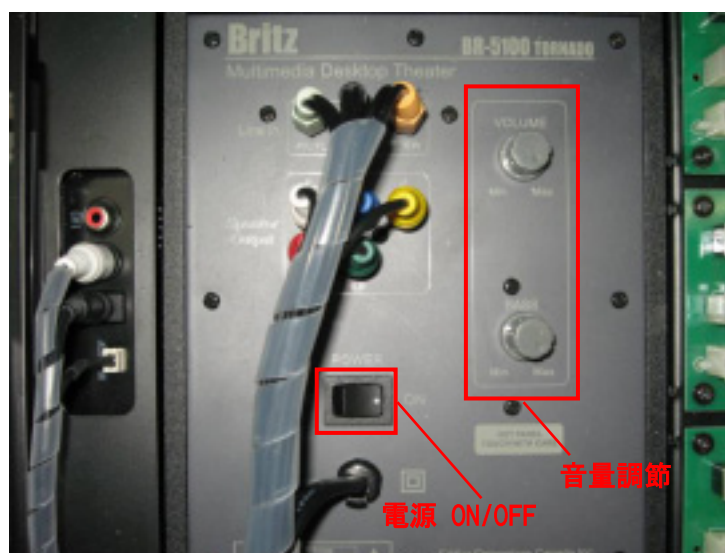
7. 音量/振動のボリュームを調整する

本節では、本機のスピーカ音量、アンプの音響レベルを調整する手順について説明します。

本機のウーファーユニット(以下、ウーファー)は本機背面の点検パネル内部の右側に設置されています(下図参照)。スピーカ、アンプの調整はウーファーのボリュームつまみより行います。



スピーカの音量を調節する場合は、ウーファーに“VOLUME”と表記されたつまみを、アンプの音響レベルを調節する場合は“BASS”と表記されたつまみを使用します※¹。スピーカの音量についてはWindows上でも調節可能ですので、本機の音量は“Max”あたりで固定し、細かい調整はWindows上で行うことをお勧めします※²。



※1) スピーカの電源をONにする際は、音量を小さくした状態で行うようにしてください。また、スピーカの音量の調節は少しずつ行うようにしてください。あまり大きな音量で使用しますと、耳に障害を与える恐れがあります。

※2) Windowsの音量の調節方法については、お使いのPCメーカーにお問い合わせください。

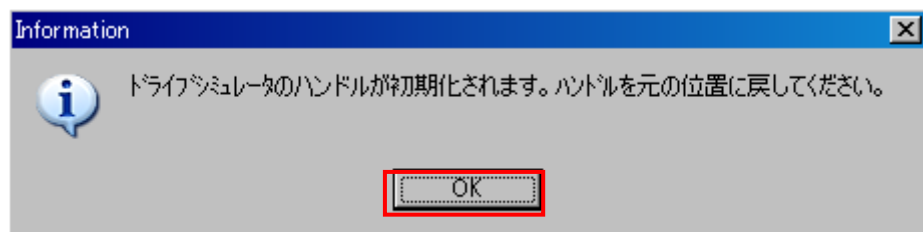
8. UC-win/Roadの起動と実行

本節では、UC-win/Roadドライブシミュレータの設定方法、実際に使用する際の手順について説明します。

8-1. プログラムの起動

UC-win/Roadを起動します。[スタート | すべてのプログラム(P) | FORUM 8 | UC-win Road Ver. x.xx.xx | UC-win Road Ver.x.xx.xx]を実行します。

プラグイン読み込み時に以下のメッセージが表示されますので、“OK”を押すとステアリング位置の初期化が開始されます。



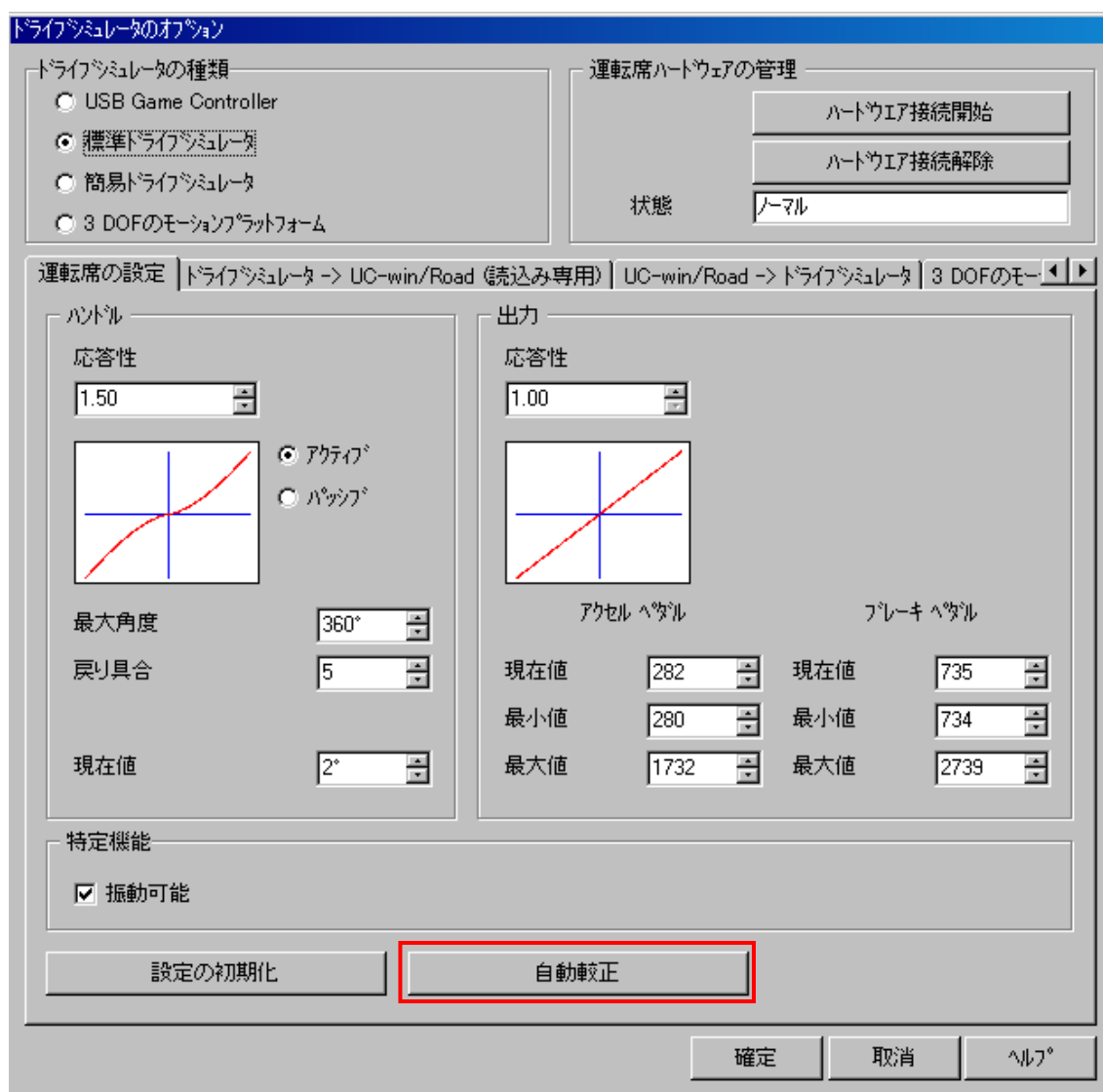
8-2. ドライブシミュレータの初期設定

本プログラムに、本機のUSB信号制御ハードウェアの入力値を記憶させます。メニューの[オプション | ドライブシミュレータオプション...]をクリックします。

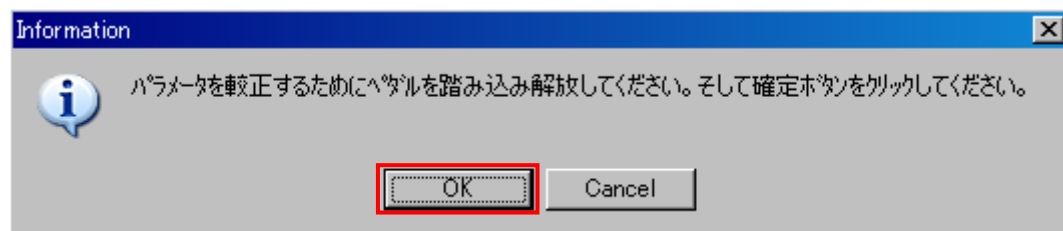
※)本操作はプログラム初回起動時のみ行います。次回起動時に本操作を行う必要はありません。



設定画面の“自動校正”ボタンをクリックします。



以下のメッセージが表示されますので、画面の表示中にアクセルペダル、ブレーキペダルを最後まで踏み込んだり、放したりしてください。本操作を何度か繰り返し行ったら、“OK”を押します。

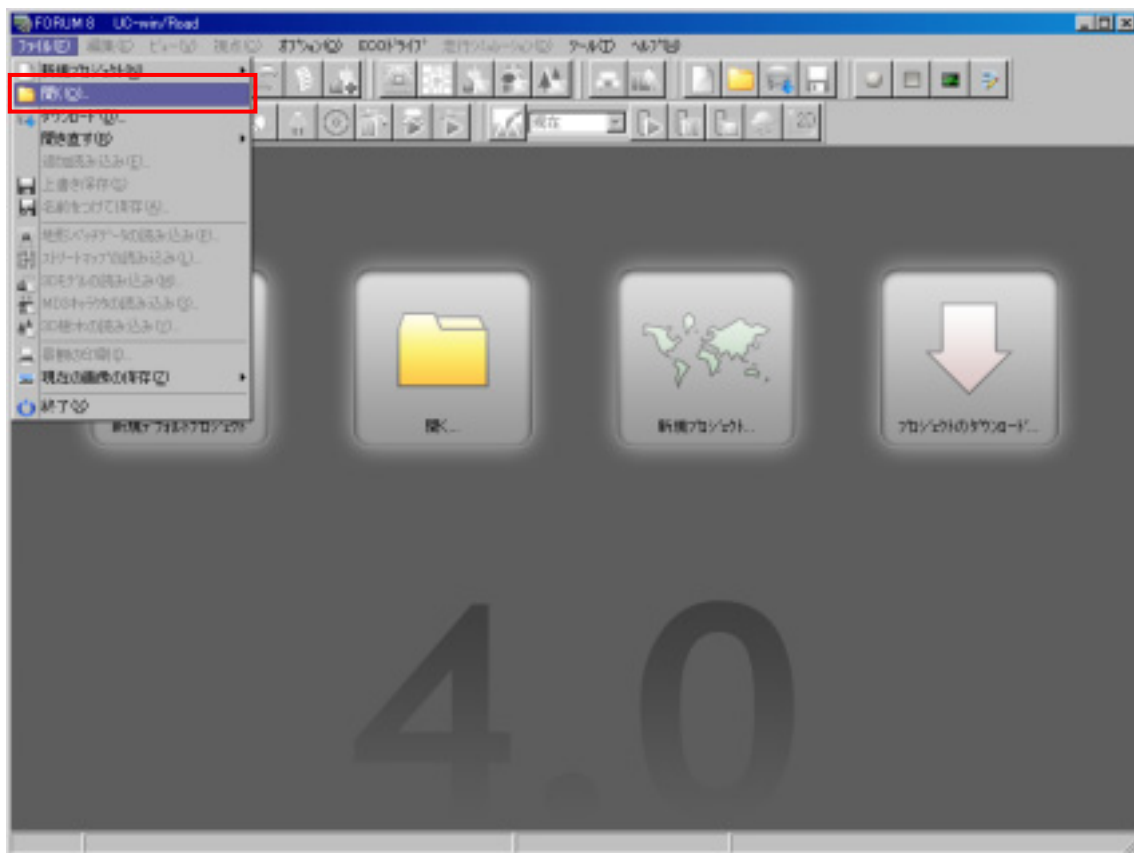


メッセージが閉じ、設定画面に戻ります。各ペダルの“現在値”、“最小値”、“最大値”の項目に、本機の入力値が記録されていることが確認できます。“OK”を押して設定を閉じます。

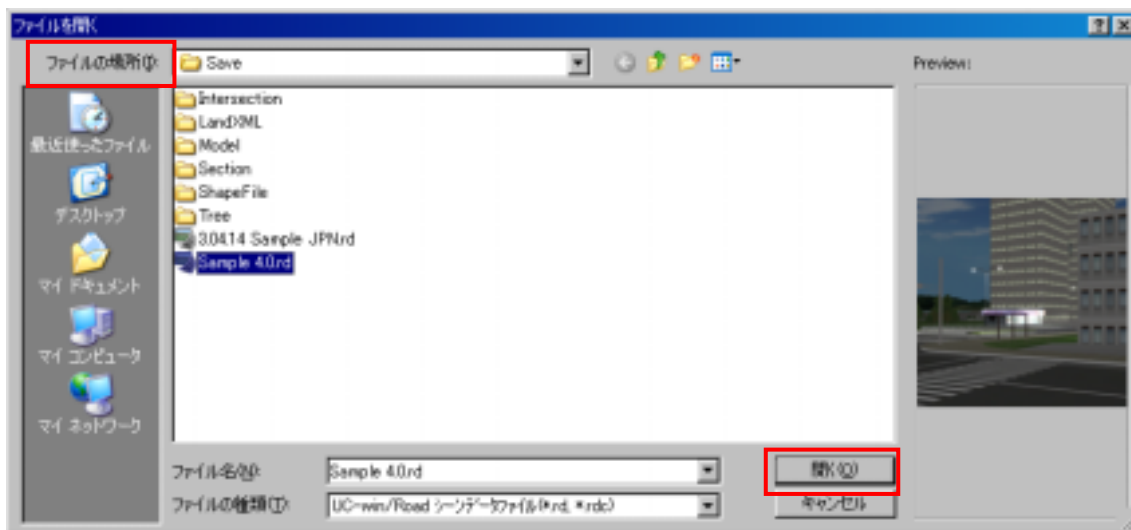
アクセル ヘタル		ブレーキ ヘタル	
現在値	282	現在値	735
最小値	280	最小値	734
最大値	1732	最大値	2739

8-3. データの読み込み

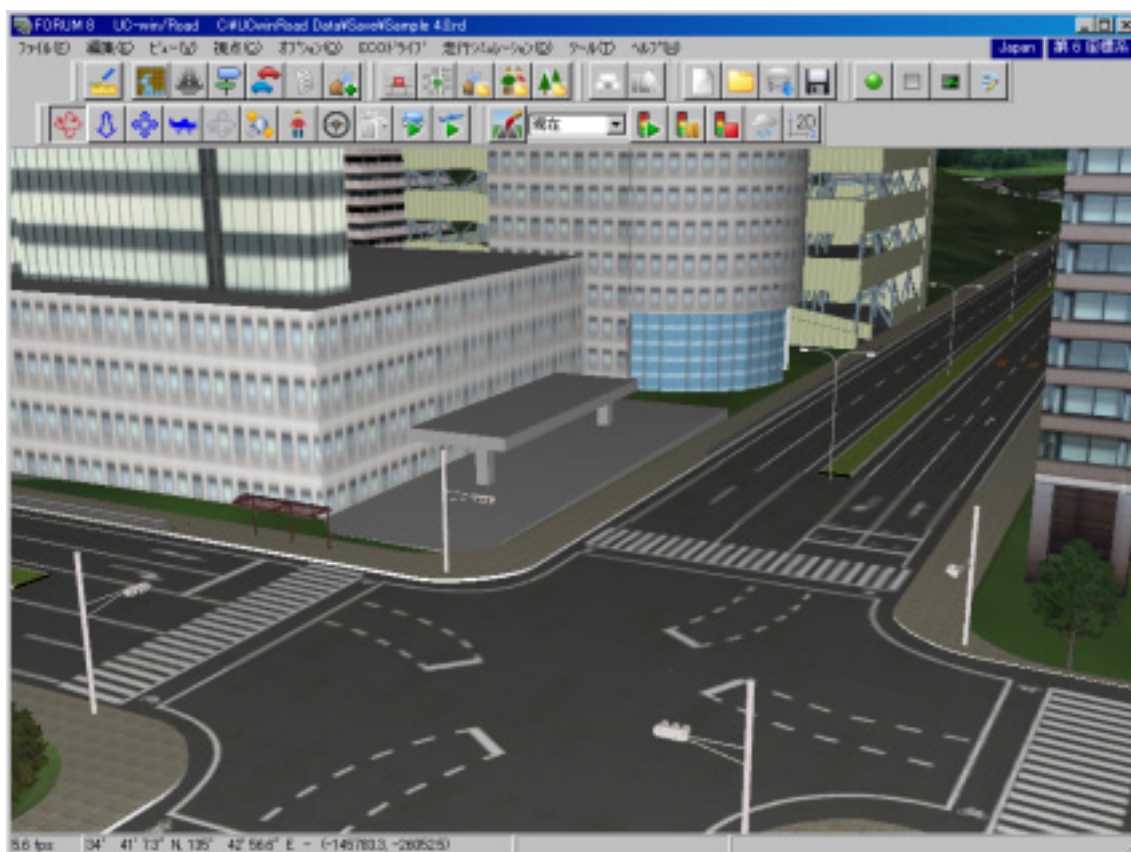
プログラムの起動が完了したら、使用するデータを読み込みます。メニューの[ファイル | 開く]をクリックします。



“ファイルを開く”ダイアログが表示されますので、ファイルの場所を“(ローカルディスク):¥UcwinRoad Data ¥Save”にするとサンプルデータが表示されます。データを選択し、“開く”を押すとデータの読み込みが開始されます。



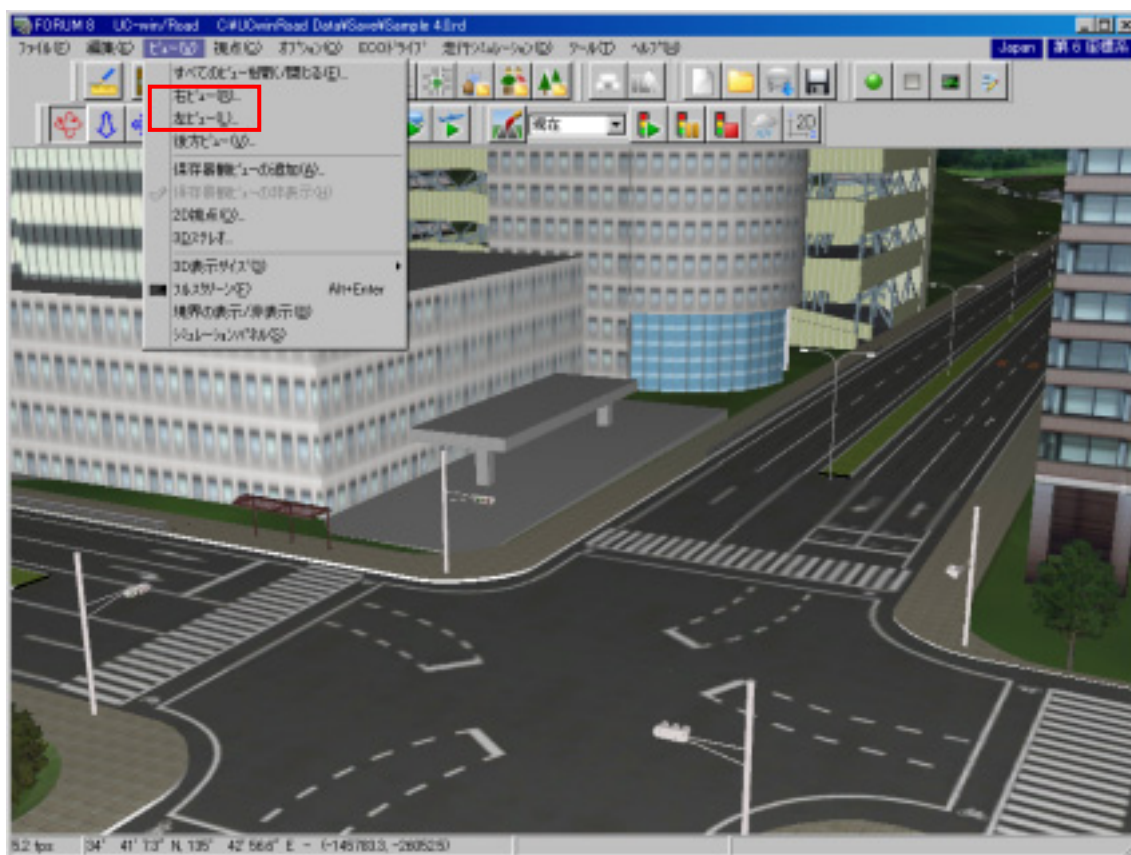
読み込みが終わりますと下記のように表示されます。



8-4. 複数画面の表示

3画面の表示を行います。メニューの[ビュー]→[右ビュー]、[左ビュー]の2つの項目にチェックを入れます。

※)上記操作は、全画面表示(最大化)を解除してから行ってください。



“右ビュー”、“左ビュー”が表示されたら、1番目の画面を全画面表示に切り替えます(右ビュー、左ビューウインドウも同時に最大化されます)。



8-5. 全画面表示の切替え

プログラムのメニュー画面を非表示にする際には、以下のいずれかの操作により全画面モードに切り替えることができます。

- ・中央の画面をアクティブにした状態で“Alt + Enter”キーを入力する
- ・中央の画面を右クリックし、ポップアップメニューより“フルスクリーン”を選択しチェックを入れる
- ・メニューの[ビュー | フルスクリーン]を選択しチェックを入れる



フルスクリーン：チェックしていない場合

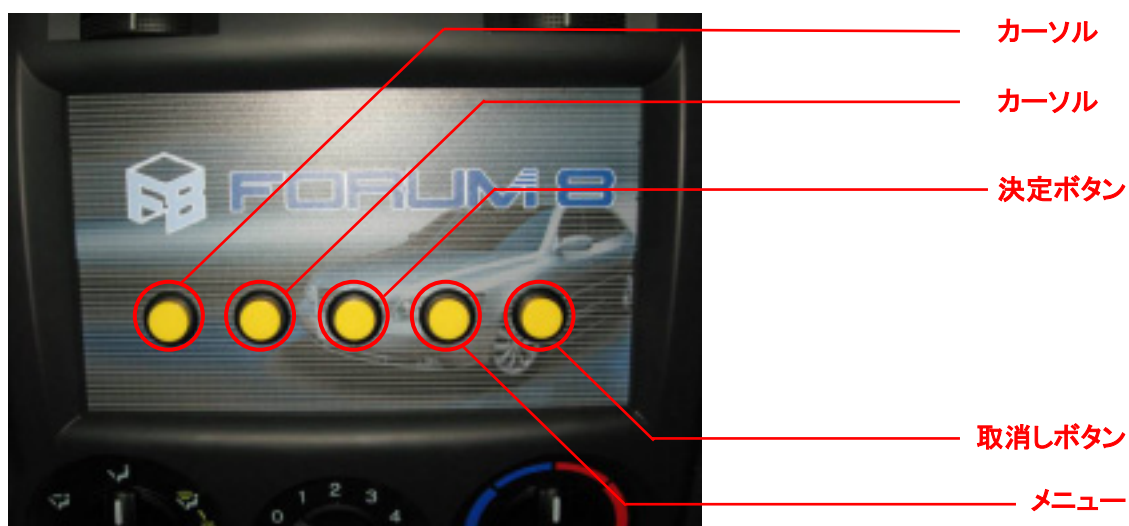


フルスクリーン：チェックした場合

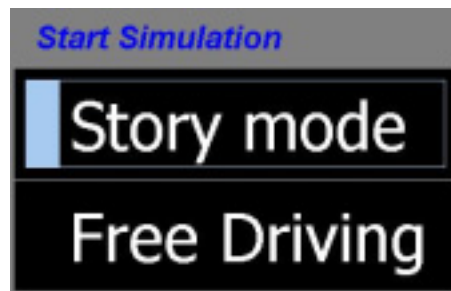
全画面モードを解除し、メニューを再度表示する場合も、上記のうちいずれかの操作を再度行い、“フルスクリーン”のチェックを外すことで設定が解除されます。

8-6. シナリオモードの実行(カスタマイズ版のみ対応)

シナリオモードの選択および実行の手順について説明します。走行時には、本機のセンターコンソール上に備わっている5つのユーザボタンより行います。本プログラム上では、各ボタンは以下のように割り当てられています。



“メニュー”ボタンを押し、メニュー画面を呼び出しますと以下の画面が表示されます。



各シミュレーションモードの詳細は以下の通りです。

•Story mode

シナリオ毎に設定された車両、走行ルートを守るモードです。シナリオ毎に、イベントなどを設定し実際の走行中の様々なタイミングにて発生させることができます。

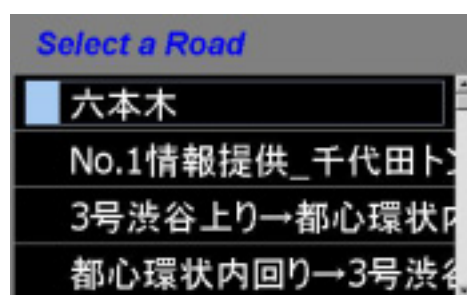
•Free Driving

車両、走行ルートを自由に選択して走行するモードです。イベントなどは発生しません。

走行モードで“Story Mode”を選択した場合、シナリオを選択する画面が表示されます。走行するシナリオを上下の選択ボタンにより選択し、“決定”ボタンを押して確定するとシナリオモードでの走行が開始されます。



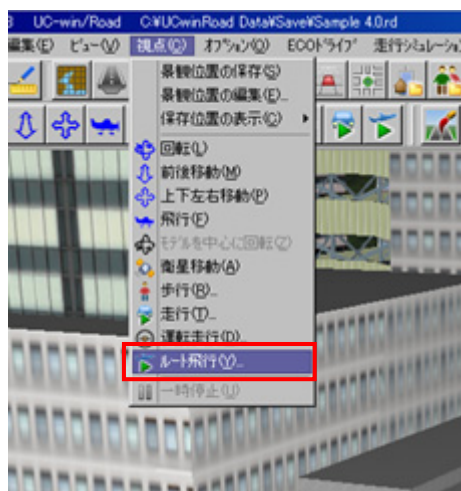
また、走行モードに“Free Driving”を選択した場合、走行ルートを選択する画面が表示されます。走行するルートを上下の選択ボタンにより選択し、“決定”ボタンを押して確定するとフリーモードでの走行が開始されます。



8-7. ルート飛行

本操作は、走行シミュレーションを行わない際の、主に展示目的などで使用します。本機能を長時間使用する場合には、Windowsのスクリーンセーバー※¹やモニタの省電力設定を無効にしておくことをお勧めします※²。

メニューの[視点 | ルート飛行]をクリックします。



“ルート飛行の設定”選択画面が表示されます。“飛行ルート一覧”よりシナリオ(飛行ルート)を選択し、“確定”を押します。



ルート飛行が開始されます。

※1) スクリーンセーバーとは、PCが一定時間使用されていない間、画面を画像またはアニメーションで覆うWindowsの機能のことです。スクリーンセーバーの詳細についてはMicrosoft Corporationにお問い合わせください。

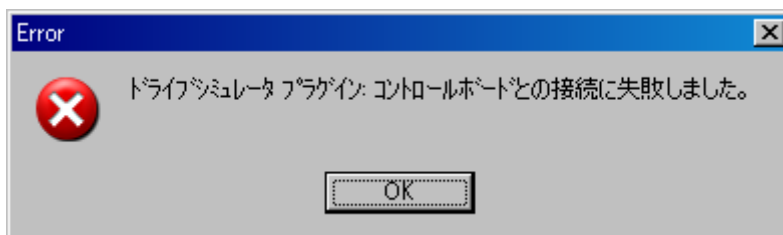
※2) スクリーンセーバー、モニタの省電力設定の方法についてはお使いのPCメーカーまたはMicrosoft Corporationにお問い合わせください。

9. トラブルシューティング


本機の使用の際にトラブルが発生した場合にご覧ください。

Q1. プログラム起動時にエラーメッセージが表示される

プログラムの起動時に以下のエラーメッセージが表示され、ステアリングの初期化が行われな
いことがあります。



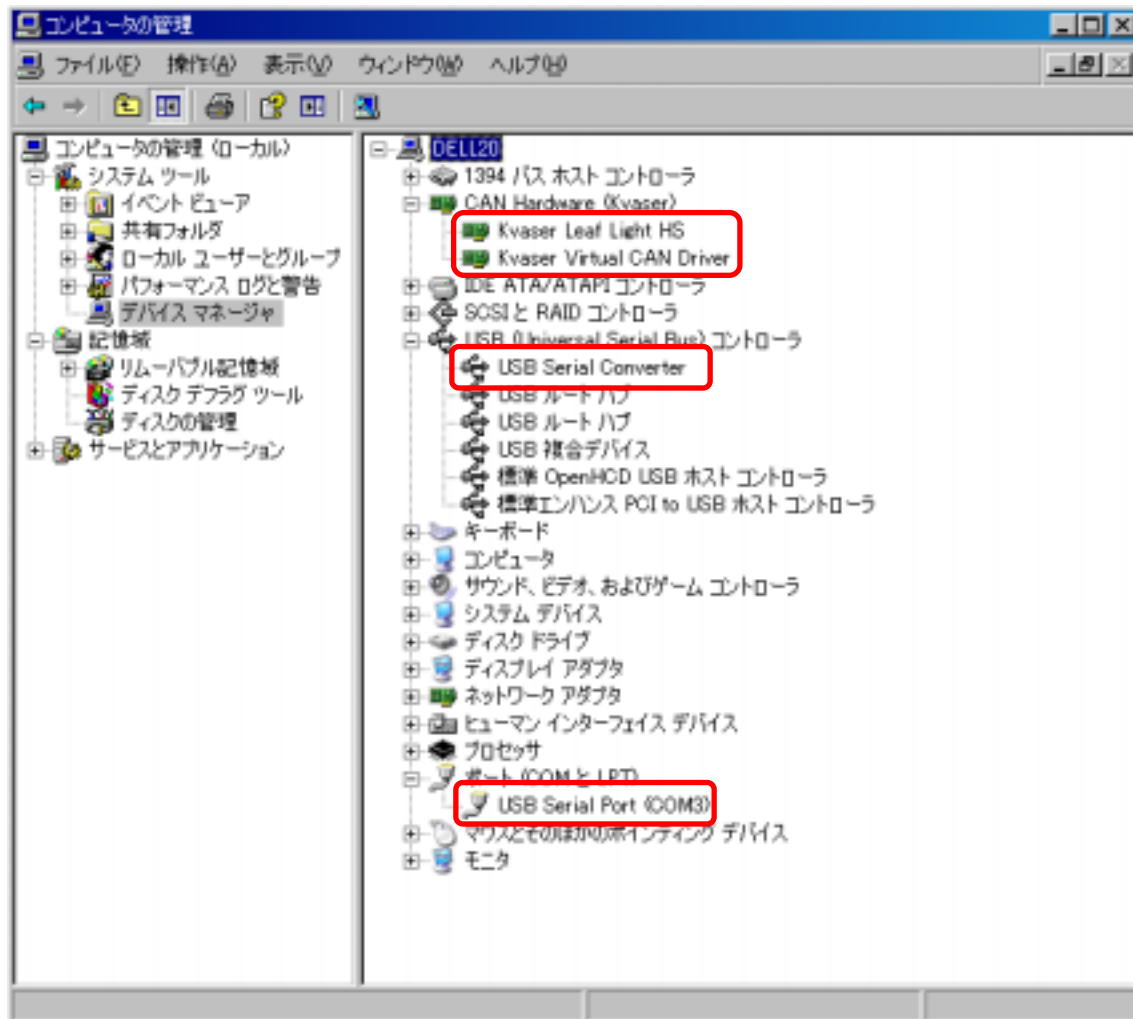
本エラーは、本機のUSBコントローラデバイスがお使いのPCに認識されていない状態で、プログラムを起動した際に表示されます。そのような場合、次のことを試してください。

- 本機とPCがUSBケーブルで正しく接続されているか確認します。
- 本機のデバイスドライバが正しくインストールされているか確認します。
- 本機のリセットボタンを2～3秒押してから、UC-win/Roadを再起動して確認します。

< デバイスドライバの確認方法について >

本機のUSBデバイスドライバが正常にインストールされているかどうかは、デバイスマネージャより確認することができます。

デバイスマネージャを起動します。



各デバイスの下に青い四角()に囲まれているデバイスが表示されているかを確認します。もし、表示されていない場合にはUSBが繋がっていないことを指すのでUSBを差し直すか又はUSB挿す口を変えて見て下さい。

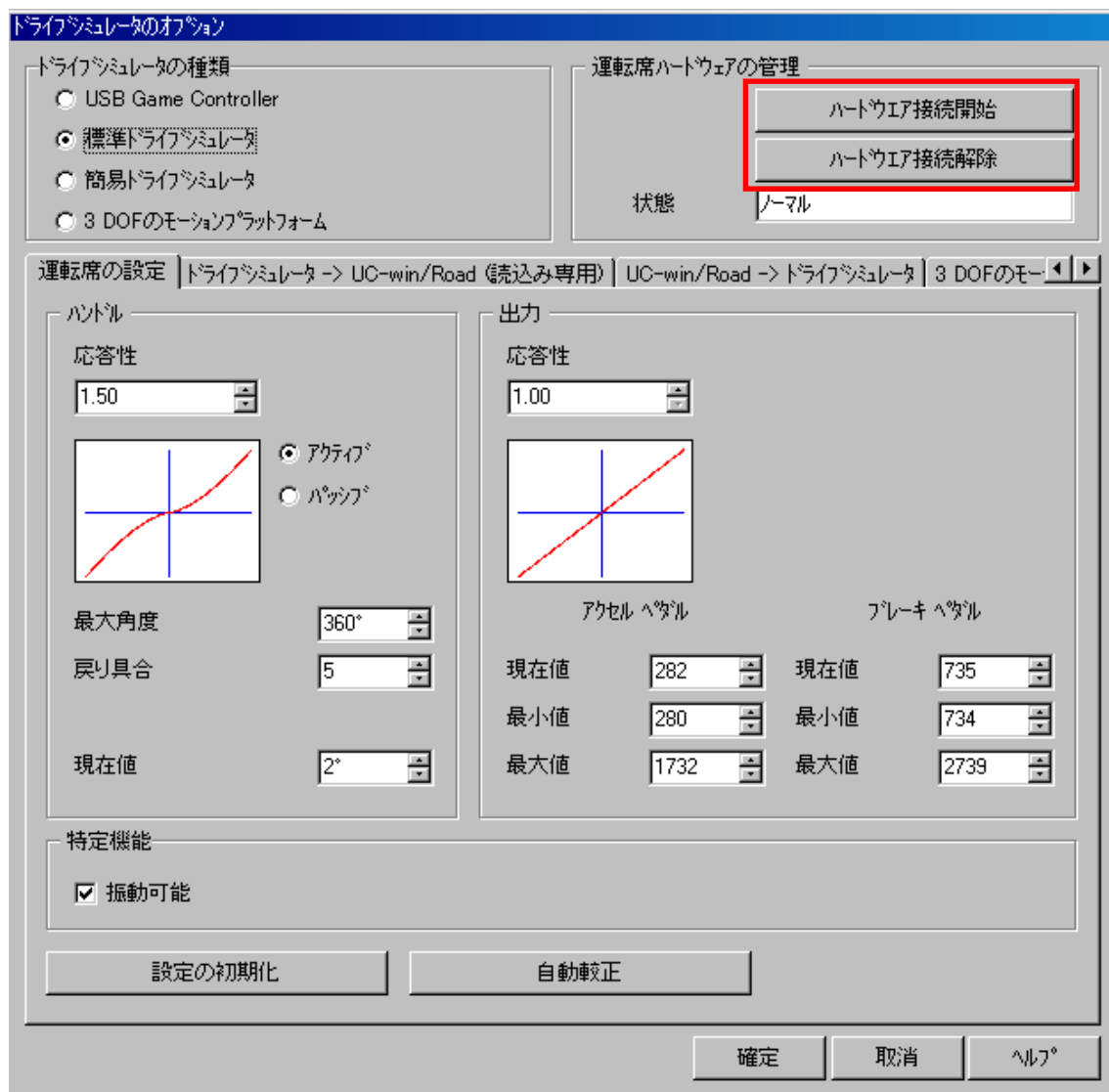
“CAN Hardware(Kvaser)内に、“Kvaser Leaf Light HS”と“Kvaser Virtual CAN Driver”、“USB Serial Converter”、“USB Serial Port(COM 番号)”が表示されており、アイコンに“?”マークなどエラーが表示されていなければ、ドライバのインストールは正常に行われております。もしアイコンに“?”マークが表示されていた場合、ドライバが正常にインストールされていないのでドライバの再セットアップを行ってください。ドライバのインストール手順については5章「ドライバのインストール」を参照してください。

Q2. 突然運転ができなくなった(ハンドルあるいはペダルが反応しない)

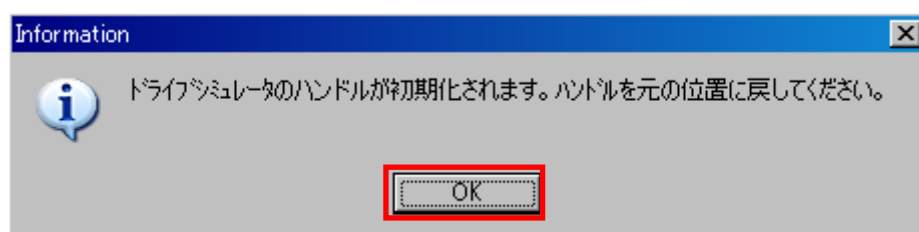
プログラムを使用中に、プログラム上で本機のハンドル、ペダルなどのデバイスが応答しなくなる場合がございます。そのような場合、次のことを試してください。

ハンドルの反応がない場合：

本機のリセットボタンを押した後、メニューの[オプション | ドライブシミュレーターオプション]をクリックし、ドライブシミュレータのオプション画面を開きます。オプション画面下の“ハードウェア接続解除”、“ハードウェア接続開始”の順にボタンを押します。



ハンドルの初期化メッセージが表示されますので、“OK”を押します。

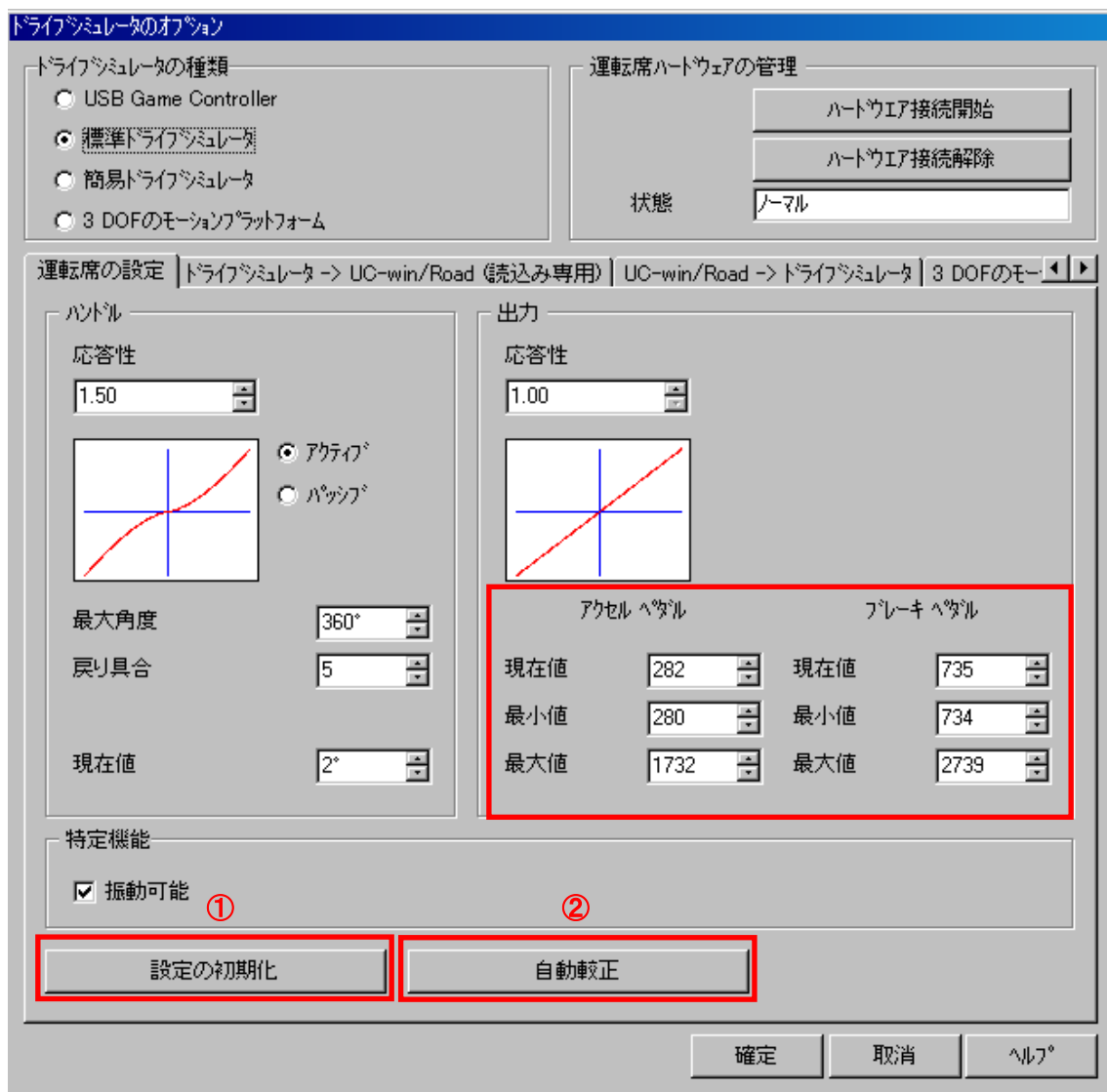


ハンドルの初期化が行われます。

正常に初期化されますと下側の状態が“nomal”になります。

ペダルの反応がない場合：

本機のリセットボタンを押した後、メニューの[オプション | ドライブシミュレーターオプション]をクリックし、ドライブシミュレータのオプション画面を開きます。中間右側のアクセルとブレーキの入力値が“0(ゼロ)”になっている可能性があります。その場合には、その下の“設定の初期化”ボタンを押して「OK」ボタンを押した後、“自動較正”を押してアクセル、ブレーキをそれぞれ一回ずつ最後まで踏んでから離します。それから「OK」ボタンを押してメイン画面に戻ってペダルを試します。

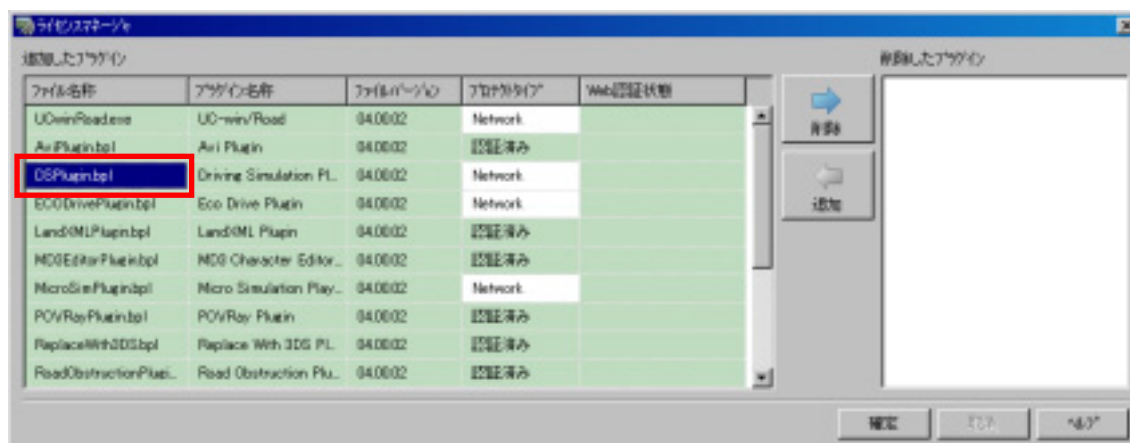


Q3. ハンドルの初期化メッセージが表示されない

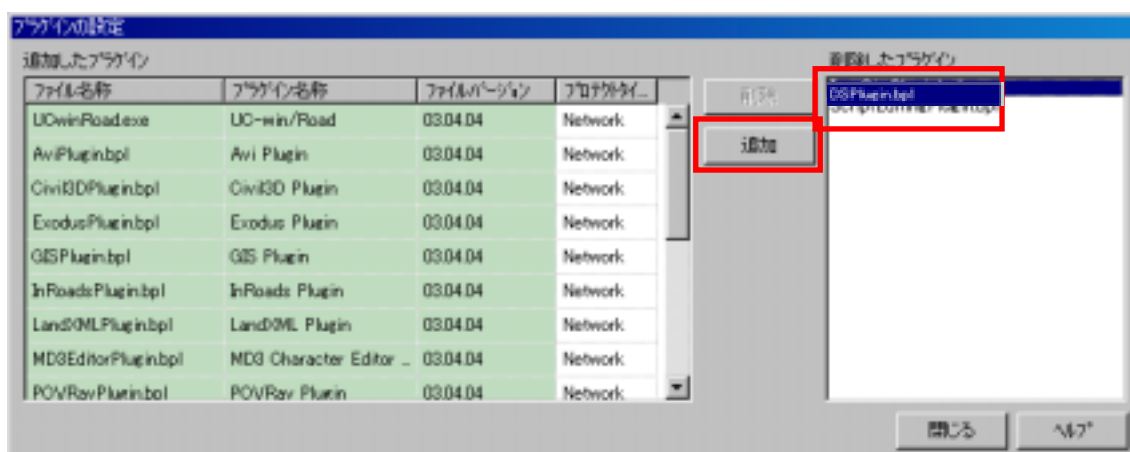
プログラムの起動時にメッセージが表示されず、ステアリング位置の初期化が行われなかった

場合、「DSPlugin.bpl」が読み込まれていない可能性があります。次のことを確認してください。

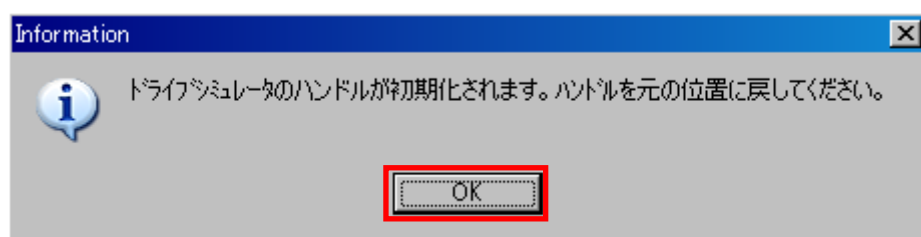
プログラムの[オプション | ライセンスマネージャ]をクリックします。ライセンスマネージャ画面が表示されます。



左枠“追加したプラグイン”リスト内に「DSPlugin.bpl」が含まれているか確認します。もし同プラグインがリスト内に含まれていない場合は、右枠より「DSPlugin.bpl」を選択し、“追加”ボタンをクリックします。



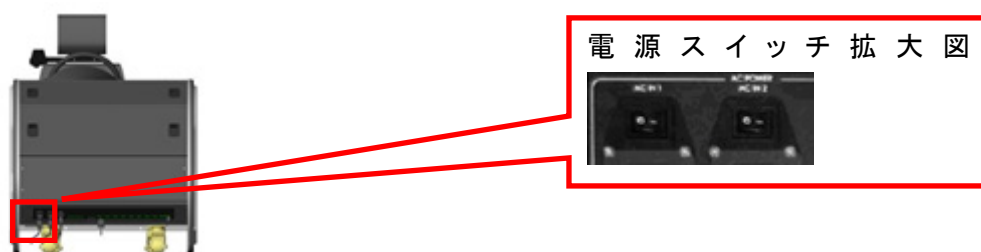
プラグインの読み込み時に、以下のメッセージが表示されるので“OK”を押します。ステアリングの初期化が開始されます。



Q4. デバイス、プラグインが正常に認識されていても起動時、初期化が失敗する

本機の電源スイッチを一回消してからつけ直します。

本機の電源スイッチは 2 個あります。場所は次のようです。



本機の電源スイッチをつけ直しても現状が解決できない場合には電力が足りない可能性があります。本機が必要とする電力量に達しているのかどうか電力供給元を確認して下さい。

必要電力量については下記の「ハードウェア仕様」を参照して下さい。

10. ハードウェア仕様

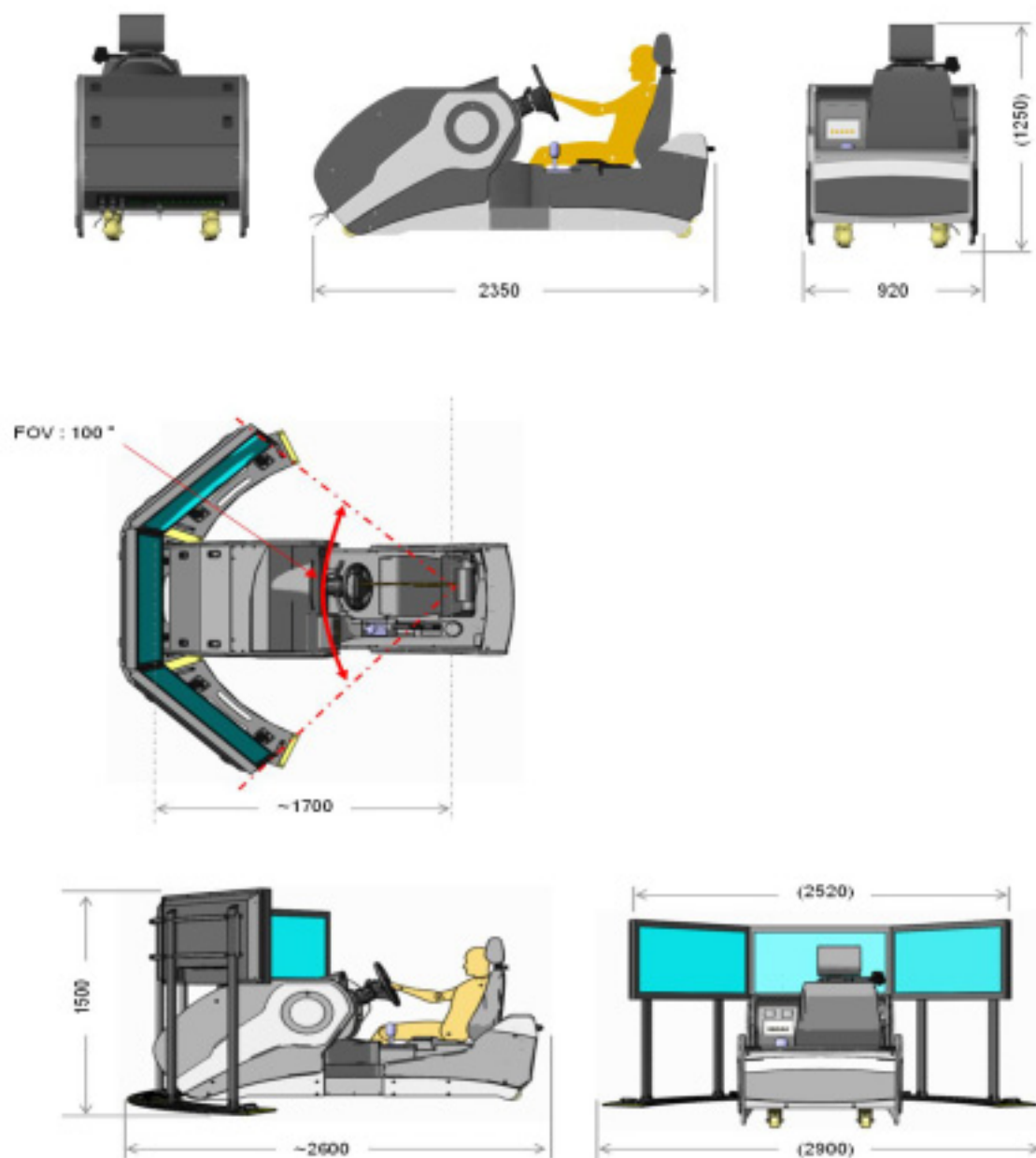
ドライブシミュレータ構成スペック一覧

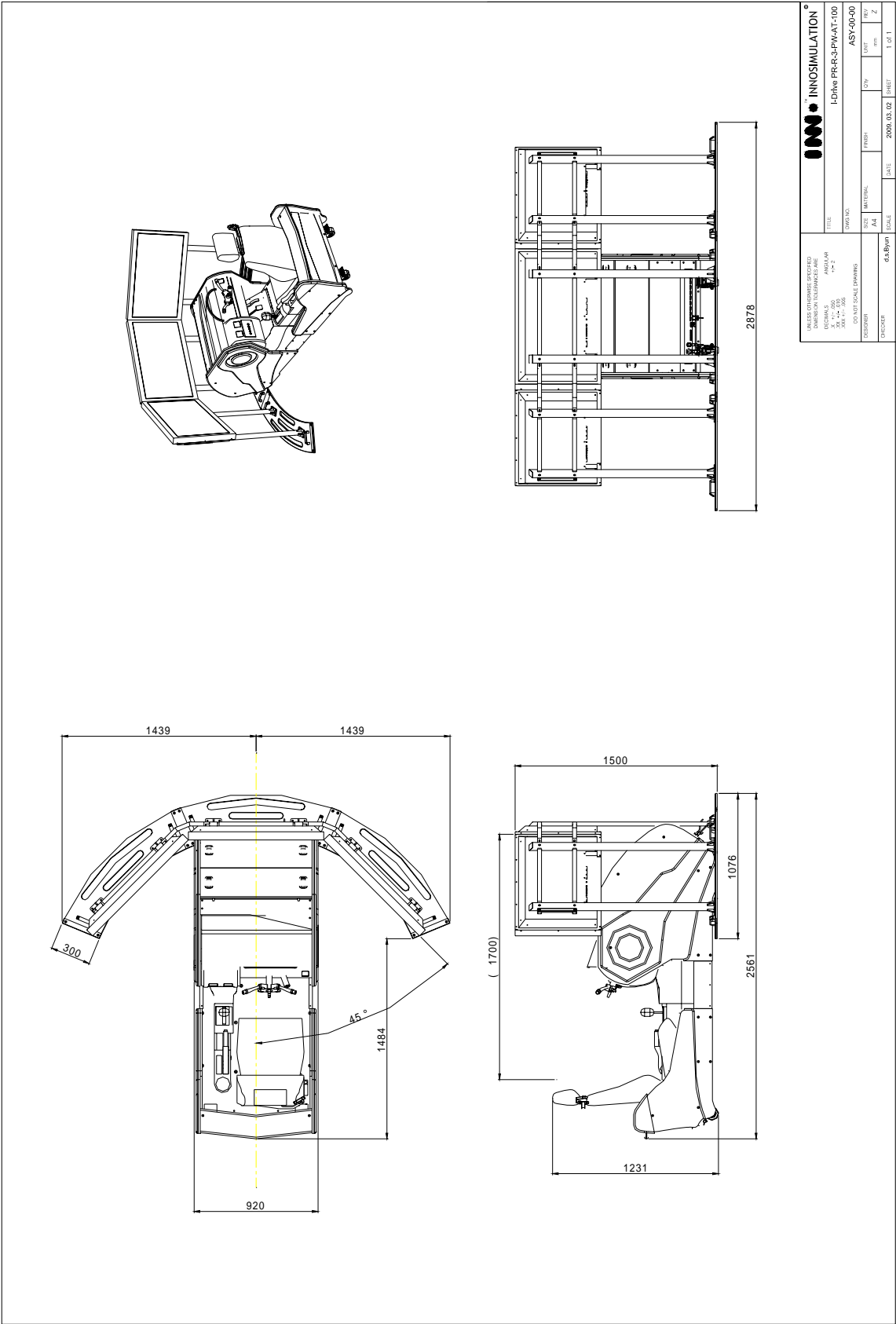
モデル名	i-Drive (PR-R-PW-AT-100)		
本体	外形	寸法(LxDxH)	2344mm x 920mm x 1250mm
		設置空間	3000mm x 2500mm x 1800mm
		重量	280Kg
	電源		AC 100V 50hz 1000w
	温度環境条件※ ²		0℃～35℃
	規定		CE
	MDAQ	Interface	USB 2.0 / RS-232C※ ¹
		駆動 OS	Window※ ³ XP
		電源	DC 12V Computer Power Acceptable
		入、出力	Analog Input 4Ch / Output 6Ch Digital Input 32CH / Output 7CH
	電源分配ボード(Fuse)		AC 100V 8A
	DC 電源供給		DC 12V
	オーディオアンプ	出力	Max 2000W
		電源	AC 100V 50/60Hz 30W
		チャンネル	5 チャンネル(Center: Vibration)
	振動アンプ	出力	Max 36W(18W x 2)
		電源	DC 12V
		チャンネル	2 チャンネル(Front / Rear)
		周波数	10Hz～80Hz
	センサー	ステアセンサー	Potentiometer 1 kΩ
		アクセルペダルセンサー	Potentiometer 1 kΩ
		ブレーキペダルセンサー	Potentiometer 1 kΩ
	ユーザー機能ボタン		ユーザー定義 Push Button 非維持形 5 個
	ユーザー連結ボード	電源入力	AC 電源入力(最大 8A) 2 個
		電源出力	AC 電源出力(最大 5A) 1 個
		USB. HUB	USB HUB(Optional)
		Audio Port	Stereo Φ3.5 3 個
		VGA Port	D-sub 15Pin Female 3 個
		Serial Port	D-sub 9 Pin Female 5 個

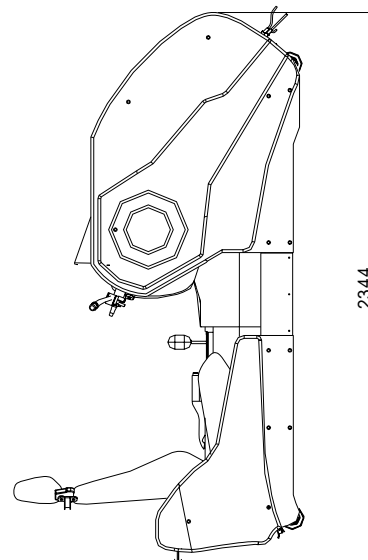
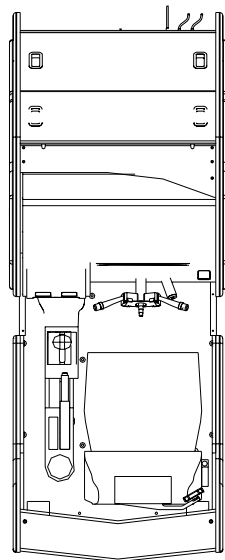
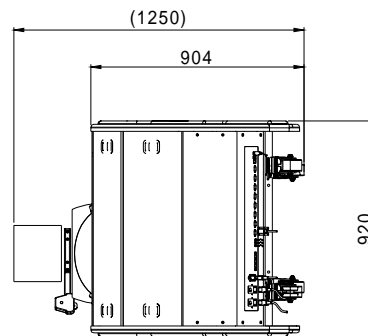
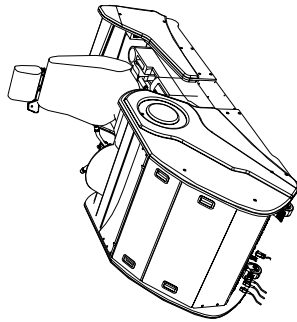
		LAN	RJ45 1 個	
		USB Port	Type A 4 個	
	車輦	Type	小型 LH	
		Steering	Active	
		Pedal	Brake / Accelerator	
		Gear	Automatic	
				
	モニター	外形	Model	42Inch LCD
			解像度	1920 x 1200
			信号入力ポート	D-sub 15 Pin 1 個
DVI 1 個				
メニュー調整			Remote Controller	
寸法(L x D x H)			1004mm x 104mm x 638mm	
設置空間			1500mm x 2500mm x 1700mm	
重量		30Kg		
電源		AC 100V 50hz 1000w		
温度環境条件※2		0℃～35℃		
規定	CE			
				

-
- ※1) 未接続により使用できないポートがあります。
 - ※2) 環境条件には、結露がないことも含まれます。
 - ※3) Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
-

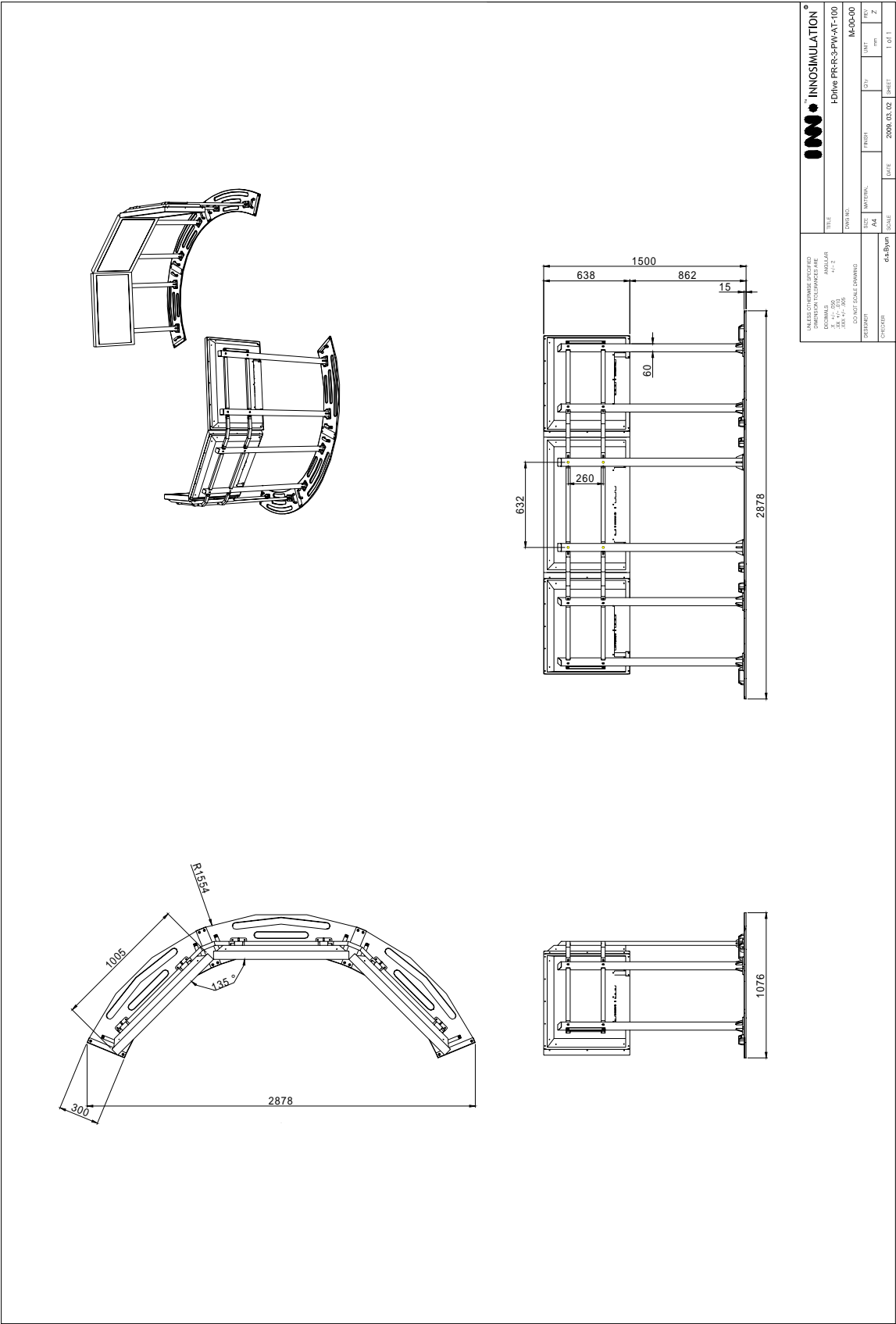
11. 本体寸法及び図面



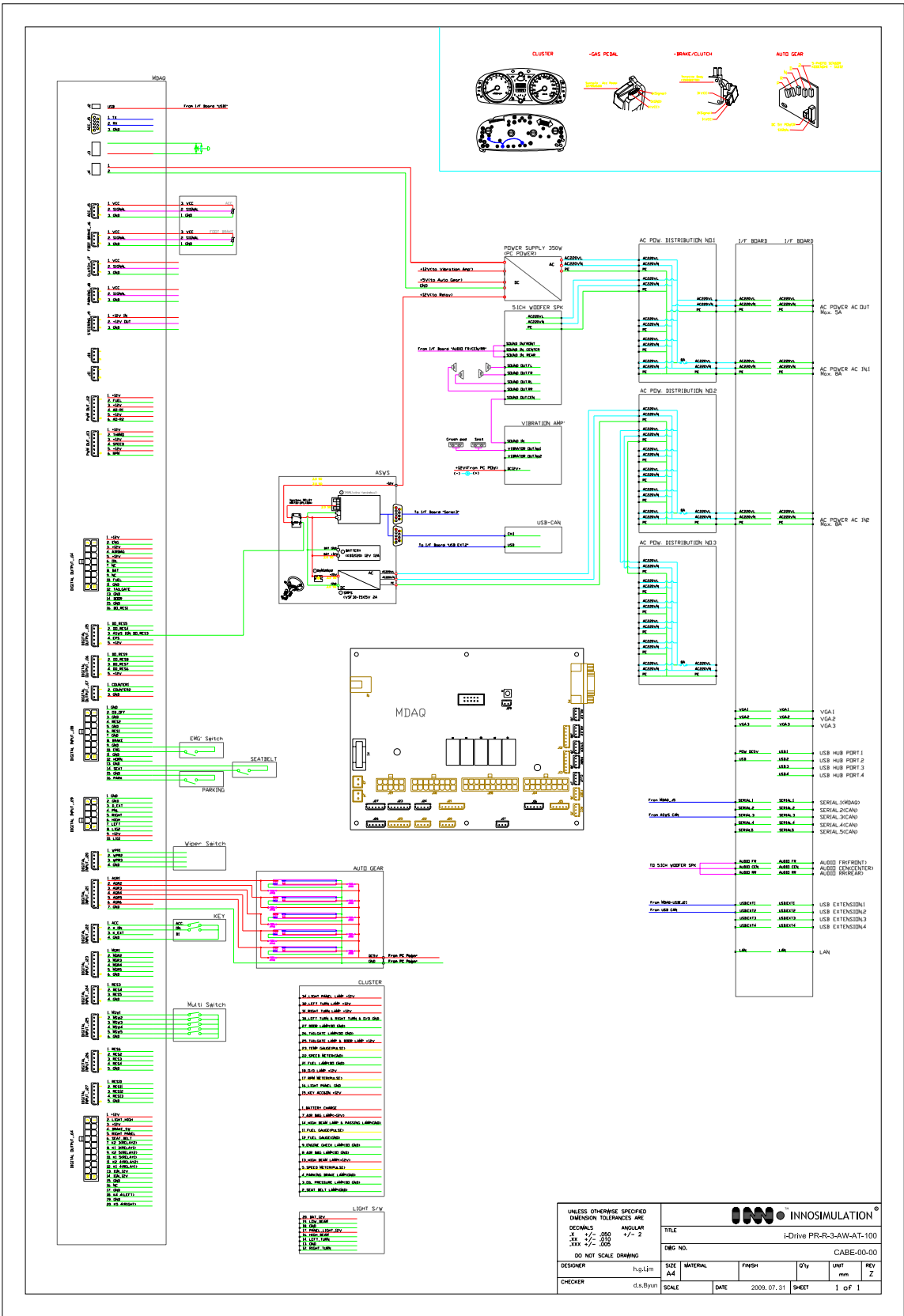




UNLESS OTHERWISE SPECIFIED DIMENSION TOLERANCES ARE IN MILLIMETERS X .125 XX .25 XXX .50		INCHES X .125 XX .25 XXX .50		DO NOT SCALE DIMENSIONS		DATE		SCALE		DRAWING NO.		TITLER	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100		100		100		100		100	
100		100		100									



12. ドライブシミュレータ回路構造図



株式会社フォーラムエイト

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー15F

TEL 03-5773-1888 FAX 03-5720-5688

ホームページ <http://www.forum8.co.jp/>

FORUM 8
